

大臣確認を行った拡散防止措置の実績
H29.4.5版

| 会合開催日時 | 議題、審議案件等 | 使用する遺伝子組換え生物 | | | 大臣確認を要する主な理由(二種省令別表第1の該当箇所等) | 拡散防止措置の区分 | 左記の拡散防止措置を執った理由 |
|--------------------|---|---------------------|---|--|------------------------------|-----------|--|
| | | 宿主の名称及び実験分類 | 供与核酸並びに核酸供与体の名称及び実験分類 | 遺伝子組換え生物の特性と使用の態様 | | | |
| 第80回 (H23.4.25) | テトロドキシン生産菌のゲノム解析に基づく生合成経路の解明 (東京工業大学) | 大腸菌K12株 (クラス1) | Shewanella algae, Pseudoalteromonas tetrodonis, Vibrio alginolyticus (実験分類未決定) | 3種の細菌の遺伝子の一部領域を、(別々に)大腸菌に導入する。 | 1-イ | P2 | 核酸供与体である細菌は、カルタヘナ法上の実験分類が決められていないが、クラス2と同様の病原性等を有すると想定されるため。 |
| | 外来遺伝子(PCV2のORF2と大腸菌のLacZ)を挿入した豚痘ウイルスを宿主とする組換え豚痘ウイルスの作製(セバ・ジャパン株式会社) | 豚痘ウイルス (クラス2) | 豚サーコウイルス (クラス2)等 | 豚サーコウイルスの遺伝子の一部領域、大腸菌のLacZ遺伝子等を、豚痘ウイルスに導入する。また、そうして得た組換え生物を、培養細胞へ接種する。 | 1-へ | P2 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| | ヒトT細胞白血病ウイルスI型(HTLV-1)遺伝子を発現する組換えワクシニアウイルスの作成と感染実験(京都大学) | ワクシニアウイルス (クラス2) | ヒトT細胞白血病ウイルスI型(HTLV-1)(クラス2)等 | HTLV I 型の遺伝子の一部領域等をワクシニアウイルスに導入する。また、そうして得た組換え生物を、動物へ接種する。 | 1-へ | P2、P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |

| | | | | | | | |
|-----------------------|---|---------------------------------|--------------------------|---|--------|--------|--|
| | 鳥インフルエンザウイルスの病原性に関与するPB2内の領域の同定(独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構) | インフルエンザウイルスの高病原性株(クラス3) | インフルエンザウイルスの高病原性株(クラス3) | 高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1型)に点変異を加える。また、そうして得た組換え生物を、動物へ接種する。 | 1-へ | P3、P3A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| | 異種間での体細胞核移植実験(プライムテック株式会社) | 親生物として以下を用いる ブタ、カニクイサル(クラス1) | / | 宿主(親細胞)をブタ、核酸供与体をカニクイサルとした細胞融合実験。 動物個体にはしないもの。 | 細胞融合実験 | P1A | 動物個体にはしないが、胚を作成するため、法対象となる。哺乳動物等への病原性等はない。 |
| | マウスノロウイルスを利用した経口ワクチン用ベクター開発のための基礎実験(国立長寿医療研究センター) | マウスノロウイルス(クラス2) | オワンクラゲ(クラス1) | オワンクラゲ由来のEGFP等のマーカー遺伝子等を、マウスノロウイルスに導入する。そうして得た組換え生物を、培養細胞へ接種する。 | 1-へ | P2 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| その他、申請者の希望により、非公開が2件。 | | | | | | | |
| 第81回 (H23.5.30) | 外来性遺伝子(レポーター遺伝子)を挿入したプロテインAもしくはプロテインG融合型Hタンパク質発現麻疹ウイルスの作製 (国立感染症研究所) | 麻疹ウイルス(クラス2) | 各種レポーター遺伝子(クラス1もしくはクラス2) | 麻疹ウイルスに各種レポーター遺伝子を導入する。 | 1-へ | P2 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| | 伝染性ファブリキウス囊病ウイルス非構造タンパク質VP5の機能説明(鳥取大学) | 伝染性ファブリキウス囊病ウイルス(クラス2) | 伝染性ファブリキウス囊病ウイルス(クラス2) | 一部領域の欠損又は変異を持つ伝染性ファブリキウス囊病ウイルスを作成する。 | 1-へ | P2 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |

| | | | | | | |
|---|-------------------------------|-------------------------------|---|---------|--------|--|
| リバースジェネティクス法による麻疹ウイルス変異体および麻疹センダイキメラウイルスの作製と増殖能の解析 (関西総合文理学園) | 麻疹ウイルス(クラス2) | センダイウイルス(クラス2) | 変異を持つ麻疹ウイルス及び麻疹ウイルスとセンダイウイルスのキメラウイルスを作成する。 | 1-へ | P2 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| 遺伝子組換えマウスガンマヘルペスウイルス68を用いた培養細胞レベル・個体レベルでのウイルス感染動態の解析 (九州大学) | マウスガンマヘルペスウイルス68 (実験分類未決定) | マウスガンマヘルペスウイルス68 (実験分類未決定) | 変異を導入したマウスガンマヘルペスウイルス68を作成する。同組換えウイルスをマウスに接種する。 | 1-イ 1-へ | P2、P2A | 宿主であるウイルスはカルタヘナ法上の実験分類が決められていないが、クラス2と同様の病原性等を有すると想定されるため。 |
| リバースジェネティクス(RG)技術を用いた新型および季節性A型インフルエンザウイルスのHA蛋白質の精製の為のウイルス株作製 (国立感染症研究所) | インフルエンザウイルス(クラス2) | インフルエンザウイルス(クラス2) | プロテアーゼ認識配列を付与したHA遺伝子を含むインフルエンザウイルスを作製する。同組換えウイルスを発育鶏卵に接種する。 | 1-へ | P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| 変異型C型肝炎ウイルスの作製に基づくC型肝炎ウイルス産生機構の研究(日本大学) | C型肝炎ウイルス(クラス2) | C型肝炎ウイルス(クラス2) | 点変異や欠損を導入したC型肝炎ウイルスを作成する。 | 1-へ | P2 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が1件。 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------|--|----------------------------------|-----------------|--|---------|---------|---|
| 第82回 (H23.7.28) | ウマMHCクラス I 遺伝子導入マウスの作製とそれを利用したウマヘルペスウイルス 1 型感染モデルの確立 (北海道大学) | マウス(クラス1) | ウマ(クラス1) | ウマの遺伝子を導入した、遺伝子組換えマウスを作出する。また、同マウスに非組換えのウイルスを接種する。 | 3-ロ | P1A、P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。ただし、非組換えウイルスの接種については、同ウイルスがクラス2であることを考慮し、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| | エンテロウイルス 71 感受性マウスの作成とウイルス接種実験(II) (東京都医学総合研究所) | マウス(クラス1) | ヒト(クラス1) | ヒトの遺伝子を導入した、遺伝子組換えマウスを作出する。また、同マウスにウイルスを接種する。 | 1-へ 3-イ | P1A、P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。ただし、ウイルスの接種については、同ウイルスの病原性等を考慮し、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| | C型肝炎ウイルス (HCV) ゲノム組換えアデノウイルスベクターの開発 (大阪大学) | アデノウイルス (クラス2) | C型肝炎ウイルス (クラス2) | C型肝炎ウイルスの遺伝子をアデノウイルスに導入する。また、同組換えウイルスをマウスに接種する。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| | カニクイザル体細胞とウサギ卵子の細胞融合による異種間核移植法の開発 (医薬基盤研究所) | 親生物として以下を用いる ウサギ、カニクイザル(クラス1) | / | カニクイザル体細胞とウサギ卵子の細胞融合を行う。 | 細胞融合実験 | P1 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |

| | | | | | | |
|--|-------------------|----------------------------------|--|---------|--------|--------------------------|
| 第7分節に変異を導入した組換えインフルエンザウイルスの作成を通じたM1およびM2ウイルスタンパク質の機能解析（微生物化学研究会） | インフルエンザウイルス(クラス2) | インフルエンザウイルス(クラス2) | インフルエンザウイルスに複数の点変異を導入する。 | 1-へ | P2 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| GFPを導入した組換えインフルエンザウイルスを利用した抗ウイルス剤スクリーニング系の構築（微生物化学研究会） | インフルエンザウイルス(クラス2) | 水疱性口内炎インディアナウイルス(クラス2)、GFP(クラス1) | 水疱性口内炎インディアナウイルスの一部領域とGFP遺伝子をインフルエンザウイルスに導入する。 | 1-へ | P2 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| 組換えポリオウイルスを利用した体内伝播機構の解明（微生物化学研究会） | ポリオウイルス(クラス2) | ポリオウイルス(クラス2)、各種蛍光タンパク質遺伝子(クラス1) | 変異や欠損のある遺伝子組換えポリオウイルスを作成する。 | 1-へ | P2 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| HA抗原性解析のためのリバースジェネティクス法を用いたインフルエンザウイルスの作製 (農業・食品産業技術総合研究機構) | インフルエンザウイルス(クラス2) | インフルエンザウイルス(クラス3) | 高病原性鳥インフルエンザの一部領域をインフルエンザウイルスに導入する。 | 1-へ | P2 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| 鳥インフルエンザウイルスの鶏病原性と関与するNP遺伝子分節を持つ低病原性H9N2ウイルスの作出と鶏増殖性の解析（農業・食品産業技術総合研究機構） | インフルエンザ(クラス2) | インフルエンザウイルス(クラス3) | 高病原性鳥インフルエンザの一部領域を低病原性鳥インフルエンザウイルスに導入する。得られた組換えインフルエンザウイルスを鶏に接種する。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |

| | | | | | | | |
|-----------------------|--|--------------------|-------------------------------|---|---------|--------|--|
| | ファイバー改変型腫瘍溶解性アデノウイルスの作製と抗腫瘍効果の検討 (兵庫医科大学) | アデノウイルス (クラス2) | アデノウイルス (クラス2) ヒト(クラス1) | 株の異なるアデノウイルスの一部領域及びヒト由来プロモーターを導入した組換えアデノウイルスを作成する。また、同組換えアデノウイルスを培養細胞およびマウスに接種する。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| | UL13, UL23, UL30, UL41, UL50, US3, US9, US11, US12遺伝子欠損、および蛍光蛋白質(EGFP、dsRed)、乳糖分解酵素(β -ガラクトシダーゼ)を発現する組換えヒト単純ヘルペスウイルス1型(HSV-1)の作製と感染実験(福島県立医科大学) | ヒト単純ヘルペスウイルス(クラス2) | 各種マーカー遺伝子(クラス1) | 遺伝子欠損ヒト単純ヘルペスウイルスを作成し、マーカー遺伝子を導入する。また、同組換え単純ヘルペスウイルスを培養細胞およびマウスに接種する。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が2件。 | | | | | | | |
| 第83回 (H23.9.30) | キャプシド蛋白質修飾アデノウイルス・ライブラリーを用いた細胞・組織特異的ベクターの開発(3) (国立がん研究センター) | アデノウイルス (クラス2) | ヒト(クラス1)、各種マーカー遺伝子 | アデノウイルスのキャプシド蛋白質に係る遺伝子領域を改変した遺伝子組換えウイルスを作成する。同ウイルスをマウス等に接種する。 | 1-へ 3-イ | P3、P3A | 新たな感染特異性を獲得する可能性があるため、P3レベルの拡散防止措置を執る。 |
| | 制限増殖型アデノウイルス欠損変異株を用いた悪性腫瘍に対する抗腫瘍効果のイメージング その2 (国立がん研究センター) | アデノウイルス (クラス2) | ヒト(クラス1)、各種マーカー遺伝子 | 炎症組織や腫瘍で増殖する遺伝子組換えアデノウイルスを作成する。同ウイルスをマウスに接種する。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| | インフルエンザウイルスのマトリックスタンパクの機能解析 (鳥取大学) | インフルエンザウイルス(クラス2) | インフルエンザウイルス(クラス2) | インフルエンザウイルスの株間キメラを作成する。 | 1-へ | P2 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |

| | | | | | | |
|--|-------------------------------|-------------------------------|--|---------|--------|--|
| レポーター遺伝子であるGFPおよびLuciferaseを挿入したシンドビスウイルス(Sindbis virus)を用いた哺乳動物培養細胞、ショウジョウバエ培養細胞およびショウジョウバエ個体への感染実験 (東北大学) | シンドビスウイルス(クラス2) | オワンクラゲ(クラス1)等 | オワンクラゲ等由来のマーカージ遺伝子を、シンドビスウイルスに導入する。同ウイルスを培養細胞又はショウジョウバエに接種する。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| HSVアンプリコンベクターと弱毒化HSV-1 HF10を利用した腫瘍溶解性ウイルス療法の開発 (名古屋大学) | Herpes simplex virus 1型(クラス2) | マウス、ヒト(クラス1) | 組換えHSV(HSVの外被のみをもった非増殖型のアンプリコンベクター)を作製する。それを、HSVとともにマウス等に接種する。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| 組換え水痘帯状疱疹ウイルスを用いた新規抗ウイルス化合物の作用点解析 (国立感染症研究所) | 水痘帯状疱疹ウイルスのうち、ワクチン株(クラス1) | 水痘帯状疱疹ウイルス(クラス2)、オワンクラゲ(クラス1) | 水痘帯状疱疹ウイルスのワクチン株に変異及びマーカージ遺伝子を導入する。 | 1-へ | P2 | ワクチン株ではない野生型の宿主と比較して、病原性等が変化することが想定されないため。 |
| レポーター遺伝子発現組換えキメラゲノム型ヒトパラインフルエンザウイルス1型の相補DNAからの作製および培養細胞への感染による感染機構の解析 (国立感染症研究所) | ヒトパラインフルエンザウイルス(クラス2) | 各種マーカージ遺伝子 | ヒトパラインフルエンザウイルスの株間キメラを作成し、それらにマーカージ遺伝子を導入する。 | 1-へ | P2 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| C型肝炎ウイルスのワクチン開発 (熊本大学) | 麻疹ウイルス(クラス2) | C型肝炎ウイルス(クラス2) | 麻疹ウイルスにC型肝炎ウイルスの一部遺伝子を導入する。同ウイルスをマウス等に接種する。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |

| | | | | | | | |
|-----------------------|---|----------------------------------|--|---|---------|--------|--|
| | 遺伝子改変単純ヘルペスウイルス1型を用いた癌標的化ウイルス療法の開発 (東京薬科大学) | Herpes simplex virus 1型(クラス2) | 各種マーカー遺伝子 | ヘルペスウイルスに変異及びマーカー遺伝子を導入する。 | 1-へ | P2 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| | 弱毒化麻疹ウイルスワクチン株を用いた効果的で安全な新規癌治療法の研究開発 (九州大学) | 麻疹ウイルスのうち、ワクチン株(クラス1) | 麻疹ウイルス(クラス2) | 麻疹ウイルスのワクチン株に変異を導入する。変異には野生型由来の配列も含まれる。同ウイルスをマウス等に接種する。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A | ワクチン株ではない野生型の宿主と比較して、病原性等が変化することが想定されないため。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が6件。 | | | | | | | |
| 第84回 (H23.11.18) | 子宮頸がん細胞を標的とした制限増殖型組換えアデノウイルスの開発 (国立がん研究センター) | アデノウイルス(クラス2) | パピローマウイルス(クラス2)、各種マーカー遺伝子等 | パピローマウイルス等由来の遺伝子を導入した、遺伝子組換えアデノウイルスを作成する。また、同ウイルスを培養細胞又はマウスに接種する。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| | 組み換えヒト免疫不全ウイルスを用いたHIV遺伝子機能解析-2 (東京大学) | HIV1型(クラス3) | encephalomyocarditis virus(クラス2)、各種マーカー遺伝子(クラス1) | HIV1型に変異、マーカー遺伝子、他のウイルス由来の遺伝子を導入する。 | 1-へ | P3 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| | 遺伝子改変動物細胞と植物細胞の融合実験 (鳥取大学) | 親生物として以下を用いる シロイナズナ、ヒト等(クラス1) | / | シロイナズナ、ヒト(一部染色体のみ用いる)の細胞融合実験を行ない、改変されたシロイナズナを栽培する。 | 細胞融合実験 | P1P | 異なる分類学の科に属する生物の細胞を融合し、植物個体を育成するため、法対象となる。哺乳動物等への病原性等はない。 |

| | | | | | | |
|---|---|-----------------------------------|---|---------|-----------|--|
| EnvAをもつG欠損型狂犬病ウイルスとTVA発現型レトロウイルスを用いた新生ニューロン標識とその構造・機能解析 (東北大学) | Rabies Virusの弱毒化株(クラス2)、Mammalian retro virus(クラス2) | Avian retro virus(クラス2)、各種マーカ遺伝子等 | 一部遺伝子が欠損した遺伝子組換え狂犬病ウイルス、外来遺伝子を導入したレトロウイルスを作成する。また、それらウイルスを培養細胞又はラットに接種する。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| C蛋白質およびp150蛋白質に変異を導入した風疹ウイルスの作成と感染実験 (国立感染症研究所) | 風疹ウイルス(クラス2) | 風疹ウイルス(クラス2)、各種マーカ遺伝子(クラス1) | 風疹ウイルスに変異及びマーカ遺伝子を導入する。 | 1-イ | P2 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| リバーシジェネティクスによるリコンビナントRVFV-MP12の作成 (国立感染症研究所) | Rift Valley fever virus(クラス3) | 各種マーカ遺伝子等(クラス1) | リフトバレーウイルスに、マーカ遺伝子等を導入する。 | 1-ハ 1-へ | P3 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| ヒトT細胞白血病ウイルス1型を含むヒトレトロウイルス感染症に対する新規治療法の開発 (国立感染症研究所) | Vesicular stomatitis Indiana ウイルス(クラス2) | ヒト(クラス1) | ヒトの遺伝子を導入したVSVウイルスを作成する。また、同ウイルスを培養細胞やマウスに接種する。その際、レトロウイルスを同時に接種する。 | 1-へ 3-イ | P2、P3、P3A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないが、レトロウイルスと同時接種する際、同ウイルスがクラス3であることを考慮し、P3の拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|---|-------------------------------|---|--|---------|--------|--|
| SFTSウイルスのエンベロープ、コア蛋白質及び非構造蛋白質cDNAを用いた実験室診断法の開発 (国立感染症研究所) | 大腸菌(クラス1)又はバキュロウイルス(クラス1) | Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome virus (未分類) | 宿主にSFTSウイルスの一部遺伝子を導入する。 | 1-イ | P2 | 核酸供与体であるウイルスは、カルタヘナ法上の実験分類が決められていないが、クラス3と同様の病原性等を有すると想定されるため。 |
| Respiratory syncytial virus(RSV)のM2,N蛋白とインフルエンザウイルスM2, N蛋白を発現する組換え弱毒麻疹ワクチンウイルスAIK-C株の樹立 (北里大学) | 麻疹ウイルスのワクチン株(クラス1) | Respiratory syncytial virus(クラス2)、Influenzaウイルス(クラス2) | RSV由来又はインフルエンザ由来の遺伝子を導入した、遺伝子組換え麻疹ウイルスを作成する。また、それらを培養細胞又はラットに接種する。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A | ワクチン株ではない野生型の宿主と比較して、病原性等が変化することが想定されないため。 |
| 腫瘍溶解性アデノウイルスを用いた新しい癌ワクチン療法の開発 (兵庫医科大学) | アデノウイルス(クラス2) | マウス(クラス1)等 | マウス由来の遺伝子を導入した、遺伝子組換えアデノウイルスを作成する。また、同ウイルスを培養細胞又はマウスに接種する。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| インフルエンザの霊長類感染モデルにおける研究 (京都大学) | Influenzaウイルス(クラス2又は3) | Influenzaウイルス(クラス2又は3)、Vesicular stomatitis Indianaウイルス(クラス2) | VSVウイルスの一部遺伝子を含む、インフルエンザの株間キメラを、動物に接種する。 | 1-へ 3-イ | P3A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| 単純ヘルペスウイルス I 型組換えウイルスによる Respiratory Syncytial virus ウイルス様粒子の産生 (福島県立医科大学) | Herpes simplex virus 1型(クラス2) | Respiratory syncytial virus(クラス2) | RSV由来の遺伝子を導入した、遺伝子組換えHSVを作成する。また、それらを培養細胞又はマウスに接種する。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が2件。 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------|--|----------------------|---|---|---------|--------------|--|
| 第85回 (H24.1.27) | セルラーゼ等自己糖化型遺伝子導入葉緑体形質転換タバコの特性評価 (農業生物資源研究所) | タバコ(クラス1) | Thermotoga科、Acidothermus科、Clostridium科に属する微生物の一部(クラス1) | 微生物由来のセルラーゼ遺伝子を葉緑体に導入した、遺伝子組換えタバコを栽培する。 | 4-ロ | 特定網室 | 供与核酸は葉緑体ゲノムに組み込まれており、特定網室の拡散防止措置で十分であると考えられるため。 |
| | ヒメビPウイルスの完全長cDNA由来感染性粒子の欠損・挿入変異株を用いたウンカ類のウイルスベクターの開発 (農業生物資源研究所) | ヒメビPウイルス(クラス1) | 各種マーカー遺伝子等(クラス1) | 変異やマーカー遺伝子を導入した遺伝子組換えヒメビPウイルスを作製する。また、同ウイルスを培養細胞や昆虫に接種する。昆虫に給餌する植物幼苗にウイルスが付着する可能性があるため、同植物についても拡散防止措置を執る。 | 1-へ 3-イ | P1, P1A, P1P | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| | リバースジェネティクス法を用いた内部遺伝子改変インフルエンザウイルスの作製 (農業・食品産業技術総合研究機構) | インフルエンザウイルス(クラス2, 3) | インフルエンザウイルス(クラス2, 3) | 宿主のウイルスに変異を加える。また、同ウイルスを鶏に接種する。 | 1-へ 3-イ | P3, P3A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| | ニューカッスル病ウイルス(NDV)F蛋白遺伝子及び鶏伝染性ファブリキウス嚢病ウイルス(IBDV)VP2蛋白遺伝子の融合遺伝子を挿入した七面鳥ヘルペスウイルス(HVT)の鶏接種実験 (畜産生物科学安全研究所) | 七面鳥ヘルペスウイルス(クラス1) | Newcastle disease virus、Infectious bursal disease virus(クラス2) | Newcastle disease virus及びInfectious bursal disease virusの一部遺伝子を導入した遺伝子組換え七面鳥ヘルペスウイルスを、鶏に接種する。 | 1-へ 3-イ | P2A | 宿主の病原性等が変化することは想定されないが、核酸供与体の実験分類にあわせた拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|---|-----------------------------|---|--|---------|---------|--|
| ニューカッスル病ウイルス(NDV)F蛋白遺伝子及び／又は鶏伝染性ファブリキウス囊病ウイルス(IBDV)VP2蛋白遺伝子を挿入した七面鳥ヘルペスウイルス(HVT)の鶏接種実験 (畜産生物科学安全研究所) | 七面鳥ヘルペスウイルス(クラス1) | Newcastle disease virus、Infectious bursal disease virus(クラス2) | Newcastle disease virus や Infectious bursal disease virusの一部遺伝子を導入した遺伝子組換え七面鳥ヘルペスウイルスを、鶏に接種する。 | 1-へ 3-イ | P2A | 宿主の病原性等が変化することは想定されないが、核酸供与体の実験分類にあわせた拡散防止措置を執る。 |
| ニューカッスル病ウイルス(NDV)F蛋白遺伝子又は鶏伝染性ファブリキウス囊病ウイルス(IBDV)VP2蛋白遺伝子を挿入したマレック病ウイルス(MDV)の鶏接種実験 (畜産生物科学安全研究所) | Marek's disease virus(クラス2) | Newcastle disease virus、Infectious bursal disease virus(クラス2) | Newcastle disease virus や Infectious bursal disease virusの一部遺伝子を導入した遺伝子組換えマレック病ウイルスを、鶏に接種する。 | 1-へ 3-イ | P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| Escherichia albertii及びEscherichia coliのゲノム上に存在するstx2f遺伝子保有プロファージの解析 (宮崎大学) | ファージ(未分類) | 大腸菌(クラス1) | Escherichia coli(クラス2)又はEscherichia albertii(未分類)に溶原化したファージに変異を加える。 | 1-へ | P2 | ファージが溶原化している微生物の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| 遺伝子組換えレオウイルスを用いた癌治療に関する研究 (大阪大学) | レオウイルス(クラス1) | ヒト、各種マーカー遺伝子等(クラス1) | 変異やマーカー遺伝子を導入した遺伝子組換えレオウイルスを作製する。また、同ウイルスをマウスに接種する。 | 1-へ 3-イ | P2, P2A | 新たな感染特異性を獲得する可能性があるため、P2レベルの拡散防止措置を執る。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が3件。 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------|---|--------------------------|---|--|---------|---------|------------------------------|
| 第86回 (H24.2.20) | 2種の外来遺伝子(NDVのF、IBDVのVP2遺伝子)を挿入したHVTワクチン株を宿主とする多価組換えウイルスの開発-4 (セバ・ジャパン株式会社) | Turkey herpesvirus(クラス1) | Newcastle disease virus(クラス2)、Infectious bursal disease virus(クラス2) | 七面鳥ヘルペスウイルスに、他のウイルス由来の遺伝子を導入した遺伝子組換えウイルスを作製する。 | 1-へ | P2 | 核酸供与体の病原性等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| | 2種の外来遺伝子(NDVのF、IBDVのVP2遺伝子)を挿入したHVTワクチン株を宿主とする多価組換えウイルスの開発-5 (セバ・ジャパン株式会社) | Turkey herpesvirus(クラス1) | Newcastle disease virus(クラス2)、Infectious bursal disease virus(クラス2) | 七面鳥ヘルペスウイルスに、他のウイルス由来の遺伝子を導入した遺伝子組換えウイルスを作製する。 | 1-へ | P2 | 核酸供与体の病原性等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| | リバースジェネティックスを用いた自己増殖型リンパ球性脈絡髄膜炎ウイルスの作製 (国立感染症研究所) | LCMvirus(クラス2) | LCMvirus(クラス2) | 変異を導入した遺伝子組換えLCMVを作製する。 | 1-へ | P2 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| | ヒトエンテロウイルスを用いた効果的で安全な新規癌治療法の研究開発 (九州大学) | 申請者の希望により非公表 | | | 1-へ 3-イ | P2, P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| 第87回 (H24.3.16) | E型肝炎ウイルスの複製に必須な部位の解析 (国立感染症研究所) | Hepatitis E virus(クラス2) | Hepatitis E virus(クラス2) | 宿主のウイルスに変異を加える。また、それをマウスに接種する。 | 1-へ 3-イ | P2, P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |

| | | | | | | |
|--|------------------------------|-----------------------------------|--|---------|-------------|--|
| サルから分離されたイヌジステンパーウイルス(CDV)をベースとした組換えCDVの作製及び血球系、上皮系等の細胞への感染性と病原性の解析 (国立感染症研究所) | Canine distemper virus(クラス2) | Canine distemper virus(クラス2) | CDVの株間キメラを作製する。 | 1-へ | P2 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| ルナウイルスのエンベロープおよびコア蛋白質cDNAを用いた抗体検出法の開発 (国立感染症研究所) | 大腸菌、バキュロウイルス(クラス1) | Luna virus(未分類) | ルナウイルス由来の一部遺伝子を導入した、遺伝子組換え大腸菌やバキュロウイルスを作製する。 | 1-へ | P2 | 核酸供与体の病原性等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| Riverse geneticsにより組換え狂犬病ウイルスの作製及び性状解析 (国立感染症研究所) | 狂犬病ウイルス(クラス2, 3) | 狂犬病ウイルス(クラス2, 3)、各種マーカー遺伝子等(クラス1) | 狂犬病ウイルスの株間キメラを作製する。また、それを培養細胞又はマウスに接種する。 | 1-へ 3-イ | P3, P3A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。(クラス3のウイルス由来の遺伝子を含まない場合、P2, P2Aの措置を執る) |
| リバースジェネティクス(RG)技術を用いたA型インフルエンザウイルスワクチン製造種株(RGワクチン製造種株)の作製・増殖、およびRGワクチン製造種株の輸入・増殖 (国立感染症研究所) | インフルエンザウイルス(クラス2, 3) | インフルエンザウイルス(クラス2, 3) | インフルエンザの株間キメラを作製する。また、それをマウス等に接種する。 | 1-へ 3-イ | P2, P3, P3A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。(クラス3のウイルス由来の遺伝子を含まない場合、P2の措置を執る) |

| | | | | | | |
|--|---|--|---|---------|---------|---|
| リバーシジェネティクス法を用いた内部遺伝子改変インフルエンザウイルスの作製 (農業・食品産業技術総合研究機構) | インフルエンザウイルス(クラス2, 3) | インフルエンザウイルス(クラス2, 3) | 宿主のウイルスに変異を加える。また、同ウイルスを鶏に接種する。 | 1-へ 3-イ | P3, P3A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| Escherichia albertiiの病原関連遺伝子群の解析 (宮崎大学) | E.albertii(未分類) | 大腸菌(クラス1) | 大腸菌由来の遺伝子を、大腸菌の近縁種であるE.albertiiに導入した、遺伝子組換え微生物等を作製する。 | 1-イ | P2 | 宿主である細菌は、カルタヘナ法上の実験分類が決められていないが、クラス2と同様の病原性等を有すると想定されるため。 |
| マーカー遺伝子を発現する組換えマウスサイトメガロウイルスの作製とマウスにおけるその感染機構の解析 (浜松医科大学) | Cytomegalovirus(クラス2) | 各種マーカー遺伝子等(クラス1) | マーカー遺伝子を導入した遺伝子組換えサイトメガロウイルスを作製する。また、同ウイルスをマウスに接種する。 | 1-へ 3-イ | P2, P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| 組換えEBウイルスの作製によるEBウイルスの分子生物学的研究 (北海道大学) | Epstein-Barr virus(クラス2) | Epstein-Barr virus(クラス2)、各種マーカー遺伝子等(クラス1) | 変異やマーカー遺伝子を導入した遺伝子組換えEBウイルスを作製する。また、同ウイルスをマウスに接種する。 | 1-へ 3-イ | P2, P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| リコンビナントウイルスを使ったパラミクソウイルス増殖機構の解明 (和歌山県立医科大学) | Sendai virus, Mumps virus, Parainfluenza virus 2型, Simian virus5 (クラス2) | Sendai virus, Mumps virus, Parainfluenza virus 2型, Simian virus5 (クラス2)、オワンクラゲ(クラス1) | 宿主のウイルスに変異を加えるとともに、マーカー遺伝子を導入する。 | 1-へ | P2 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が4件。 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------|---|--|---|--|---------|---------|------------------------------|
| 第88回 (H24.5.18) | 弱毒化ワクシニアウイルスワクチン株を用いた効果的で安全な新規癌治療法の開発-VI (東京大学) | Vaccinia virus(クラス2) | ヒト、マウス、ホタル、サンゴ、クラゲ等(クラス1)、ヒト単純ヘルペスウイルス(クラス2) | ヒト由来の遺伝子等を導入した、遺伝子組換えワクシニアウイルスを作成する。また、同ウイルスをマウスに接種する。 | 1-へ 3-イ | P2, P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| | 培養細胞に馴化したC型肝炎ウイルスの組換え体の作製と性状解析 (大阪大学) | Hepatitis C virus(クラス2) | Hepatitis C virus(クラス2)(宿主ゲノムの変異) | 宿主のウイルスゲノムの一部に変異を加え、組換えC型肝炎ウイルスを作成する。 | 1-へ | P2 | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| | ATL様病態モデルマウスを用いたHTLV-1アクセサリ遺伝子のin vivo機能解析 (関西医科大学) | human T-cell leukemia virus type1 (クラス2) | human T-cell leukemia virus type1 (クラス2)(宿主ゲノムの変異) | 宿主のウイルスのゲノムに変異を加えた組換えウイルスを作成する。また、それをマウスに接種する。 | 1-へ 3-イ | P2, P2A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| | グループIIイントロンの挿入による野兎病菌病原性関連遺伝子破壊株と相補株の作出と病原性確認 (国立感染症研究所) | Francisella tularensis subsp. tularensis(クラス3) | Francisella tularensis subsp. tularensis(クラス3)、Lactococcus lactis(クラス1) | 宿主ゲノムの一部に、変異を加えた欠損変異株及び、機能を補った株を作成する。また、それを培養細胞又はマウスに接種する。 | 1-ハ 3-イ | P3, P3A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| | LCMV(リンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス)増殖機構の分子生物学的解析 (長崎大学) | Lymphocytic Choriomeningitis virus(クラス2) | Lymphocytic Choriomeningitis virus(クラス2)、ホタル、サンゴ、クラゲ等(クラス1) | 宿主のウイルスのゲノムに変異を加えた組換えウイルスを作成する。また、それをマウスに接種する。 | 1-へ 3-イ | P2, P3A | 宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 |
| | 2種の外来遺伝子(NDVのF、IBDVのVP2遺伝子)を挿入したHVTワクチン株を宿主とする多価組換えウイルスの開発-6 (セバ・ジャパン株式会社) | Turkey herpesvirus(クラス1) | Newcastle disease virus(クラス2)、Infectious bursal disease virus(クラス2) | 七面鳥ヘルペスウイルスに、他のウイルス由来の遺伝子を導入した遺伝子組換えウイルスを作製する。 | 1-へ | P2 | 核酸供与体の病原性等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| | その他、申請者の希望により、非公表が3件。 | | | | | | |

第89回
(H24.7.19)

| | | | | | | |
|--|---|--|---|----------------|---------------|---|
| <p>フィロウイルス遺伝子断片 cDNAの増幅(北海道大学)</p> | <p>MLV(クラス2) バキュロウイルス (クラス1)</p> | <p>フィロウイルス(クラ ス4)</p> | <p>フィロウイルスのDNA断片を持つプラス ミドを作製、これを用いて組換えバキュ ロウイルス、組換えMLVを作製する。組 換えウイルスを細胞に感染させ、フィロ ウイルスのタンパク質の発現を確認す る。</p> | <p>1-ロ</p> | <p>P2</p> | <p>宿主の病原性等に 考慮してP2の拡散 防止措置を執る。</p> |
| <p>マーカー遺伝子挿入による M32融合蛋白組換えマウスサ イトメガロウイルスの作製とマ ウスにおけるその感染機構の 解析(浜松医科大学)</p> | <p>マウスサイトメガロ ウイルス(クラス2)</p> | <p>マウスサイトメガロ ウイルス(クラス2)</p> | <p>マーカー遺伝子発現カセットDNAの挿入 により、組換えMCMVを作製し、マウス 由来細胞及びマウスに感染させ、性状 の解析を行う。</p> | <p>1-へ、3-イ</p> | <p>P2、P2A</p> | <p>宿主の病原性等に 考慮してP2、P2A の拡散防止措置を 執る。</p> |
| <p>異種間4倍体哺乳動物の作製 (群馬大学)</p> | <p>親生物: マウス、 ラット、ハムスター、 ウシ、ブタ(以上、ク ラス1)</p> | | <p>マウス等の受精卵及びES細胞と異種哺 乳動物の受精卵、ES細胞を用いて細胞 融合実験を行い、発生能を解析する。</p> | <p>細胞融合</p> | <p>P1、P1A</p> | <p>異なる分類学の科 に属する生物の細 胞を融合するた め、法対象となる。 哺乳動物等への病 原性等はない。</p> |
| <p>レポーター遺伝子を持つ組換 え狂犬病ウイルス固定株の作 製、および上記組み換え生物 の接種による神経回路の越シ ナプストレーシング(京都大学)</p> | <p>狂犬病ウイルス(C VS株) クラス2</p> | <p>ヒト、ウシ、クラゲ、 サンゴ、イソギン チャク(クラス1) 豚 テシオウイルス、 Thoseaasignaウイ ルス、SV40、狂犬 病ウイルス固定株 (クラス2) 口蹄疫 ウイルス(クラス3)</p> | <p>細胞内局在化配列を含んだレポーター 遺伝子を持つ組換え狂犬病ウイルスを 作製し、培養細胞、サル、マウス、ラッ トに接種する。</p> | <p>1-へ、3-イ</p> | <p>P2、P2A</p> | <p>宿主の病原性等に 考慮してP2、P2A の拡散防止措置を 執る。</p> |

| | | | | | | |
|---|------------------------------|--|---|----------------|---------------|--|
| <p>アレナウイルスのエンベロープ遺伝子を発現する水疱性口内炎ウイルスの使用 (国立感染症研究所)</p> | <p>水疱性口内炎ウイルス(VSV)(クラス2)</p> | <p>水疱性口内炎ウイルス(VSV)(クラス2) ラッサウイルス、リンパ性脈絡髄膜炎ウイルス、フニンウイルス、チャパレウイルス、マチュポウイルス、ガナリトウイルス、サビアウイルス(以上、クラス4) ルジョウイルス(未分類) オワンクラゲ(クラス1)</p> | <p>アレナウイルスのエンベロープタンパク質を持つ組換えVSVウイルスを作製し、培養細胞に感染させる。</p> | <p>1-イ、ロ、ヘ</p> | <p>P2</p> | <p>宿主及び、核酸供与体の病原性等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。</p> |
| <p>弱毒化ワクシニアウイルスワクチン株を用いた効果的で安全な新規癌治療法の開発－VI(鳥取大学)</p> | <p>ワクシニアウイルス(クラス2)</p> | <p>ヒト、クラゲ、ホタル、ウミシイタケ、サンゴ、マウス(クラス1) ワクシニアウイルス(クラス2)</p> | <p>治療遺伝子とマーカー遺伝子を発現する組換えワクシニアウイルスを作製し、がん細胞、正常細胞への感染実験、癌モデルマウスへの投与実験を行う。</p> | <p>1-ヘ、3-イ</p> | <p>P2、P2A</p> | <p>宿主の病原性等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。</p> |
| <p>モデル抗原OVAを発現するVSVを用いたメモリーCD8T細胞の解析 (京都大学)</p> | <p>水疱性口内炎ウイルス(VSV)(クラス2)</p> | <p>ニワトリ: 卵白アルブミン(クラス1) オワンクラゲ(クラス1)</p> | <p>組換えVSVウイルスを作製し、マウスに接種する。</p> | <p>1-ヘ、3-イ</p> | <p>P2、P2A</p> | <p>宿主の病原性等に考慮してP2及びP2Aの拡散防止措置を執る。</p> |
| <p>遺伝子改変単純ヘルペスウイルス1型を用いた癌標的化ウイルス療法の開発(東京薬科大学)</p> | <p>単純ヘルペスウイルス</p> | <p>単純ヘルペスウイルス(クラス2)、オワンクラゲ、サンゴ(クラス1)</p> | <p>レポーター遺伝子を発現し、ウイルスゲノムに変異を有する組換え単純ヘルペスウイルスを作製し、培養細胞及び腫瘍を移植した動物への感染実験を行う。</p> | <p>1-ヘ、3-イ</p> | <p>P2、P2A</p> | <p>宿主の病原性等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。</p> |

| | | | | | | |
|---|---------------------------|---|--|----------------|---------------|--|
| <p>犬パルボウイルス154株に犬パルボウイルスJes株遺伝子を導入して作成した組換え犬パルボウイルス630att株の犬に対する病原性の解析及び犬における免疫応答の確認(株式会社インターベツト)</p> | <p>犬パルボウイルス154株(クラス2)</p> | <p>犬パルボウイルスJes株(クラス2)</p> | <p>犬パルボウイルスの154株とJes株から作製されたキメラウイルスを犬に接種し、その病原性及び犬における免疫応答の解析を行う。</p> | <p>1-へ、3-イ</p> | <p>P2、P2A</p> | <p>宿主の病原性等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。</p> |
| <p>シュードタイプレトロウイルスベクターを用いた出血熱ウイルス感染機構の解析と抗ウイルス剤の探索(長崎大学)</p> | <p>MLV(クラス2)</p> | <p>ラッサウイルス、フニンウイルス、チャパレウイルス、マチュポウイルス、ガナリトウイルス、サビアウイルス、フィロウイルス(クラス4)クリミア・コンゴ出血熱ウイルス(以上、クラス4)ルジョウイルス、ホワイトウォーター・アロヨウイルス、ラチノウイルス(以上、未分類)水疱性口内炎ウイルス(VSV)(クラス2)オワンクラゲ(クラス1)</p> | <p>アレナウイルス、フィロウイルス、ブニヤウイルスのエンベロープタンパク質を持つ組換えMLVシュードタイプウイルスを作製し、培養細胞に感染させる。</p> | <p>1-イ、ロ</p> | <p>P2</p> | <p>宿主及び、核酸供与体の病原性等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。</p> |
| <p>サイトカイン遺伝子含有ワクシニアウイルスベクターを用いたインフルエンザウイルスワクチンの開発(滋賀医科大学)</p> | <p>ワクシニアウイルス(クラス2)</p> | <p>ヒト(クラス1)、インフルエンザウイルス(クラス2及びクラス3)</p> | <p>インフルエンザウイルスのHA遺伝子とヒトサイトカイン遺伝子を同時に発現する組換えワクシニアウイルスを作成し、サルへ感染させる。その後、組換えウイルスを保有するサルに野生型インフルエンザウイルスを感染させる。</p> | <p>1-へ、3-イ</p> | <p>P2、P2A</p> | <p>宿主の病原性等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。また、野生型インフルエンザウイルスの感染実験はP3Aクラスの施設で行う。</p> |
| <p>その他、申請者の希望により、非公表が7件。</p> | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------|--|--|--|---|---------|------------------|---|
| 第90回 (H24.9.18) | 組換え日本脳炎ウイルス、 デングウイルス、ウエストナ イルウイルスおよびダニ媒 介性脳炎ウイルスを用いた フラビウイルス性脳炎・出血 熱の病原性発現機序の解 析(長崎大学) | 日本脳炎ウイル ス、デングウイル ス(クラス2) ウエ ストナイルウイル ス、ダニ媒介性脳 炎ウイルス(クラ ス3) | 日本脳炎ウイル ス、デングウイル ス、EMCV、HC V(クラス2) ウエ ストナイルウイル ス、ダニ媒介性脳 炎ウイルス(クラ ス3) オワンクラ ゲ(クラス1) | 点変異導入遺伝子を発現する組換 えウイルス、株間および他種間のキ メラウイルス、レポーターを発現する 組換えウイルスを作製し、培養細胞 と動物への感染実験を行う。 | 1-へ、3-イ | P2、P2A P3、P3A | 宿主および核酸 供与体の実験分 類等に考慮して P2、P2A、P3、 P3Aの拡散防止 措置を執る。 |
| | 組換えウエストナイルウイ ルスを用いた感染機構の解 析II(北海道大学) | ウエストナイルウ イルス(クラス3) | ウエストナイルウ イルス(クラス 3)、オワンクラゲ (クラス1) | マーカー遺伝子(GFP)を発現するウ エストナイルウイルスの株間キメラを 作製し、マウスへの感染実験を行 う。 | 1-へ、3-イ | P3、P3A | 宿主および核酸 供与体の実験分 類等に考慮して P3、P3Aの拡散 防止措置を執 る。 |
| | 組換えJC virusの作成-VI I(北海道大学) | JCウイルス(クラ ス2) | JCウイルス(クラ ス2)、オワンクラ ゲ、サンゴ(クラス 1) | 変異を加えたウイルス蛋白質、蛍光 蛋白質を発現する組換えウイルス、 およびゲノムの非遺伝子領域に変 異を加えた組換えウイルス等を作製 し、培養細胞への感染実験を行う。 | 1-へ | P2 | 宿主および核酸 供与体の実験分 類等に考慮して P2の拡散防止措 置を執る。 |
| | ウマMHCクラスI遺伝子導 入マウスの作製とそれを利用 したウマヘルペスウイル ス1型感染モデルの確立 (北海道大学) | マウス(クラス1) | ウマMHCクラスI (クラス1)、ウマ β 2ミクログロブリン(クラス1)、 | ウマMHCクラスI遺伝子及びウマ β 2 ミクログロブリン遺伝子等をマウス受 精卵に導入して作製されたTgマウス を用いて、マウスの交配実験及び、 得られたTgマウスを用いた野生型 のEHV-1の感染実験を行う。 | 3-ロ | P2A | 宿主および核酸 供与体の実験分 類等に考慮して P2Aの拡散防止 措置を執る。 |

| | | | | | | |
|---|-------------------------------------|---|--|---------|--------|--|
| 牛ウイルス性下痢ウイルスのエンベロープタンパク質を発現する組換え牛パラインフルエンザ3型ウイルスの作製(筑波大学) | 牛パラインフルエンザ3型ウイルス(bPIV3)(クラス1又はクラス2) | bPIV3(クラス1又はクラス2)、牛ウイルス性下痢ウイルス(BVDV)(クラス2)、オワンクラゲ(クラス1) | BVDVのエンベロープタンパク質あるいはEGFPを発現する組換えbPIV3を作製し、培養細胞へ感染させる | 1-へ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| ヘルペスウイルス変異株の作製およびそれを用いた病原性発現機構(国立感染症研究所) | ヘルペスウイルス(HSV-1 F株)(クラス2) | ヘルペスウイルス(HSV-1)(クラス2) レトロウイルス(HTLV-1 クラス2) | HSV神経病原性に関連する因子の欠損ウイルス、点変異導入ウイルス、Taxi遺伝子を導入した組換えHSVを作製し、培養細胞感染及びマウスへの接種を行う。 | 1-へ、3-イ | P2、P2A | 宿主の病原性等に考慮してP2及びP2Aの拡散防止措置を執る。 |
| ヒトライノウイルスの複製機構の研究(東京都医学総合研究所) | ヒトライノウイルス(クラス2) | ヒトライノウイルスA、B(クラス2)、ヒトライノウイルスC(未分類)、オワンクラゲ(クラス1)、六放サンゴ(クラス1) | ヒトライノウイルスA、B及びC間のキメラウイルスを作製するとともに、作製したキメラウイルスのゲノムに蛍光たんぱく質やタグ遺伝子を挿入し、ウイルス感染の成立を確認する実験を行う。 | 1-イ、1-へ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| ウイルスベクターを用いた悪性脳腫瘍に対する遺伝子治療の研究(岡山大学) | ヘルペスウイルス(クラス2) | オワンクラゲ(クラス1)、ヒト(クラス1)、ラット(クラス1) | 作製されたマーカー遺伝子(EGFP)を発現する制限増殖型の組換えヘルペスウイルスを用いて、マウスへの感染実験を行う。 | 1-へ、3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | | |
|-----------------------|--|--|---|---|-------------------|-----------|--|
| | 蛍光蛋白質発現ウマヘルペスウイルス4型の構築(岐阜大学) | ウマヘルペスウイルス4型(クラス2) | オワンクラゲ(クラス1)、ヒトサイトメガロウイルス(クラス2)、サルパポーバウイルス(クラス2) | 蛍光蛋白質やプロモーター遺伝子を挿入したウマヘルペスウイルス4型の組換えウイルスの作製し、培養細胞への感染実験を行う。 | 1-へ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| | B型肝炎ウイルスの遺伝子型に依存した複製増殖機構の解析(浜松医科大学) | B型肝炎ウイルス(クラス2) | B型肝炎ウイルス(クラス2)、B型肝炎ウイルスのFLAGタグ遺伝子(クラス2)、B型肝炎ウイルスのヒスチジンタグ遺伝子(クラス2) | B型肝炎ウイルスのA型、B型、C型間の株間キメラウイルス及びエピトープタグを挿入した組換えHBVを作製し、培養細胞への感染実験を行う。 | 1-へ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が1件。 | | | | | | | |
| 第91回(H24.11.20) | G欠損型狂犬病ウイルスとG発現型レンチウイルスを用いた標的神経細胞の標識とその構造・機能解析(東北大学) | 狂犬病ウイルス(クラス2)、HIV-1増殖欠損株(クラス2)、ラット(クラス1) | HIV(クラス3)、HDV、CMV、SV-40狂犬病ウイルス、VSV、トリ白血球肉腫ウイルス、ウッドチャック肝炎ウイルス(クラス2)、タバコスポットウイルス、クラゲ、クラミドモナス、カイメン(クラス1) | ラット神経細胞にG蛋白質発現レンチウイルスを感染させ、その後、目的遺伝子を持つ増殖能(G蛋白質)欠損狂犬病ウイルスを追加感染させることにより、神経回路に目的遺伝子を導入する。 | 1-へ 3-イ 3-ロ | P2 P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|---|-------------------------|---|--|---------|--------|--|
| イバラキウイルス(IBAV)新規遺伝子操作系を用いた変異株の作製と性状解析(神戸大学) | イバラキウイルス(クラス2) | イバラキウイルス(クラス2) オワンクラゲ(クラス1) | 組換えイバラキウイルスを作製し、培養細胞へ感染させることでその性状解析を行う。 | 1-へ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| レポーター遺伝子保有ウマヘルペスウイルス1型および9型の作製(岐阜大学) | ウマヘルペスウイルス1型および9型(クラス2) | オワンクラゲ、イソギンチャクモドキ(クラス1) | レポーター遺伝子を挿入したウマヘルペスウイルス1型および9型の組換えウイルスの作製し、培養細胞への感染実験を行う。 | 1-へ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| ウマヘルペスウイルス1型および9型ゲノムDNAの細菌人工染色体(BAC)クローニングおよび組換え体作製(岐阜大学) | ウマヘルペスウイルス1型および9型(クラス2) | ヒトサイトメガロウイルス、サルパポーバウイルス(クラス2) 大腸菌、オワンクラゲ、イソギンチャクモドキ、ラムダファージ(クラス1) | BACを用いてレポーター遺伝子の挿入、塩基配列改変、塩基配列部分削除を行ったウマヘルペスウイルス1型および9型の組換えウイルスの作製し、培養細胞への感染実験を行う。 | 1-へ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| ヒト化マウスにおけるインフルエンザウイルスの抗原性変異機構および病原性発現機構の解析(独立行政法人 理化学研究所) | インフルエンザウイルス(クラス2) | インフルエンザウイルス、SV40、VSV、HSV、Simian virus 5(クラス2) オワンクラゲ、六放サンゴ、ヒト、ウミシイタケ、Aspergillus terreus、Streptomyces alboniger、Escherichia coli(クラス1) | レポーター遺伝子及びタグ遺伝子を発現する組換えインフルエンザウイルスを作製し、培養細胞及びヒト化マウスへ感染させることでその性状解析を行う。 | 1-へ、3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | | |
|--------------------|---|---|--|--|-------------------|--------|--|
| | HIV-1 LTR制御下でEGFP遺伝子を発現するレンチウイルスの作製(国立感染症研究所) | 自立増殖能欠損HIV-1(クラス3) | HIV-1(クラス3)脳筋炎ウイルス、(クラス2)オワンクラゲ(クラス1) | HIVのLTR制御下にEGFPタンパクを発現するレンチウイルスを作製し、培養細胞に感染させることでその性状解析を行う。 | 1-ハ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| | その他、申請者の希望により、非公表が10件。 | | | | | | |
| 第92回 (H25.1.28) | B型肝炎ウイルス感染評価系構築に関する研究(大阪大学) | B型肝炎ウイルス(クラス2) | オワンクラゲ、ホタル(クラス1) | アデノウイルスベクターを用いてB型肝炎ウイルスに各種核酸を導入した組換えHBVを作製し、培養細胞及びマウスに感染させることでその性状解析を行う。 | 1-ヘ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| | 弱毒化麻疹ウイルスワクチン株を用いた効果的で安全な新規癌治療法の研究開発(九州大学) | 麻疹ウイルスワクチン株(クラス1) ワクシニアウイルス(クラス2) マウス(クラス1) | 麻疹ウイルス(クラス2) バクテリオファージ(クラス1) GFP(クラス1) ヒト(クラス1) | 弱毒化麻疹ウイルスワクチン株に各種核酸を導入した組換え麻疹ウイルスを作製し、培養細胞及び胆癌マウスに感染させることでその性状解析を行う。 | 1-ヘ 3-イ 3-ロ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| | 複数の遺伝子欠損型狂犬病ウイルスの混合による新規狂犬病ワクチンの開発(岐阜大学) | 狂犬病ウイルス各種固定株(クラス2) | 狂犬病ウイルス各種固定株の各種遺伝子欠損株(クラス2) | 狂犬病ウイルス固定株を用いて、異なるウイルス遺伝子を欠損した複数の狂犬病ウイルスの混合集団を作出し、これらを培養細胞及びマウス等に共感染させることでその性状解析を行う。 | 1-ヘ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| | レポーター遺伝子発現フラビウイルスの作製(北海道大学) | ダニ媒介性脳炎ウイルス、オムスク出血熱ウイルス(クラス3) | 脳筋炎ウイルス(クラス2) オワンクラゲ、ホタル(クラス1) | フラビウイルスの遺伝子RNAにレポーター遺伝子等を挿入した組換えウイルスを作出し、これらを培養細胞及びマウスに感染させることでその性状解析を行う。 | 1-ハ、1-ヘ 3-イ | P3、P3A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP3、P3Aの拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | | |
|-----------------------|---|---------------------|--|---|------------|--------|--|
| | 改良型ヒトテロメラーゼ逆転写酵素(hTERT)プロモーターにより増殖が制限される5型アデノウイルスを用いた癌治療・診断に関する実験(岡山大学) | ヒトアデノウイルス5型(クラス2) | CMV(クラス2) ヒト、ウシ(クラス1) | ヒトテロメラーゼ逆転写酵素プロモーターを挿入した増殖が制限される組換え5型アデノウイルスを作出し、これらを培養細胞及びマウスに感染させることでその性状解析を行う。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| | エンテロウイルス71感受性マウス(ヒト cDNA:Ex4-12 KI)の作製(ユニータック株式会社) | マウス(クラス1) | ヒト、マウス、オワンクラゲ、大腸菌、バクテリオファージP1(クラス1) SV40(クラス2) | ヒトの遺伝子の一部をマウスに導入し、エンテロウイルス71感受性マウスを作出する。 | 3-ロ | P1A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1Aの拡散防止措置を執る。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が3件。 | | | | | | | |
| 第93回 (H25.3.19) | アレナウイルス遺伝子または、亜型の異なるワクシニアウイルス遺伝子を発現する組換えワクシニアウイルスの作製(国立感染症研究所) | ワクシニアウイルス(クラス2) | ワクシニアウイルス各種亜型(クラス2) LCMV(クラス2)、オワンクラゲ、造礁サンゴ、大腸菌(クラス1) | アレナウイルスであるLCMV挿入した組換えワクシニアウイルスを作製し、培養細胞に感染させることでその性状解析を行う。 | 1-へ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| | NS遺伝子またはM遺伝子に種々の変異を導入した組換えC型インフルエンザウイルスの増殖能の解析(金沢医科大学) | C型インフルエンザウイルス(クラス2) | C型インフルエンザウイルス(クラス2)の各種変異体 | C型インフルエンザウイルスのNS遺伝子またはM遺伝子に種々の変異を導入した組換えウイルスを作製し、培養細胞及び発育鶏卵に感染させることでその性状解析を行う。 | 1-へ 3-イ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| | 培養細胞における高増殖性A型インフルエンザウイルスの作製(国立感染症研究所) | A型インフルエンザウイルス(クラス2) | A型インフルエンザウイルス(クラス2)、高病原性鳥インフルエンザAウイルス(クラス2、3) | リバースジェネティクス法を用いて遺伝子組換えインフルエンザウイルスを作出し、培養細胞における高増殖性のウイルスのスクリーニングを行う。 | 1-へ 3-イ | P2、P3 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P3の拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|---|---------------------|-------------------------------------|---|------------|--------|--|
| ブレビバチルス発現システムを用いた組換えウイルスタンパク質の作製(北海道大学) | ブレビバチルス(クラス1) | コウモリ由来ヘルペスウイルス(未分類) | コウモリ由来新規ヘルペスウイルスのタンパク質発現遺伝子をブレビバチルスに導入し、タンパク質の機能解析等を行う。 | 1-イ | P1 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1の拡散防止措置を執る。 |
| 2012年に発生した新型コロナウイルスの遺伝子検出系開発のための陽性コントロールの作成(国立感染症研究所) | 大腸菌(クラス1) | 新型コロナウイルス(未分類) | 2012年に発生した新型コロナウイルスのタンパク質発現遺伝子を大腸菌に導入し、その機能解析等を行う。 | 1-イ | P1 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1の拡散防止措置を執る。 |
| 組換えヒトサイトメガロウイルスの作出と感染実験(福島県立医科大学) | ヒトサイトメガロウイルス(クラス2) | 大腸菌、オワンクラゲ、イソギンチャク、ホタル、ウミシイタケ(クラス1) | 各種外来遺伝子や欠損等の遺伝子変異を導入した遺伝子組換えヒトサイトメガロウイルスを作成し、培養細胞や免疫不全マウスに感染させることでその性状解析を行う。 | 1-イ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| 組換えマウスサイトメガロウイルスの作出と感染実験(福島県立医科大学) | マウスサイトメガロウイルス(クラス2) | 大腸菌、オワンクラゲ、イソギンチャク、ホタル、ウミシイタケ(クラス1) | 各種外来遺伝子や欠損等の遺伝子変異を導入した遺伝子組換えマウスサイトメガロウイルスを作成し、培養細胞や免疫不全マウスに感染させることでその性状解析を行う。 | 1-イ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| 2012年に発生した新型コロナウイルスの組換え蛋白質を用いた抗体検出法の開発(国立感染症研究所) | 大腸菌、バキュロウイルス(クラス1) | 新型コロナウイルス(未分類) | 2012年に発生した新型コロナウイルスのタンパク質発現遺伝子を大腸菌またはバキュロウイルスに導入し、その機能解析等を行う。 | 1-イ | P1 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1の拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | | |
|--------------------|---|--------------------|---|---|------------|--------|--|
| | ネコから分離された新規モルビリウウイルスの組換えN蛋白の発現および特異抗血清の作製(国立感染症研究所) | 大腸菌、バキュロウイルス(クラス1) | ネコモルビリオウイルス(未分類) | 間質性腎炎のネコから分離された新規モルビリウウイルスのN蛋白発現遺伝子を大腸菌及びバキュロウイルスに導入し、その機能解析等を行う。 | 1-イ | P1 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1の拡散防止措置を執る。 |
| | その他、申請者の希望により、非公表が1件。 | | | | | | |
| 第94回 (H25.5.14) | レポーター遺伝子を導入したSARSコロナウイルスの作成を通じたウイルス複製機構の解明(大阪大学) | SARSコロナウイルス(クラス3) | サイトメガロウイルス、D型肝炎ウイルス(クラス2) ウシ、オワンクラゲ、ホタル、人工合成核酸(クラス1) | レポーター遺伝子や各種変異を導入した組換えSARSコロナウイルスを作製し、培養細胞に感染させることでその性状解析を行う。 | 1-ハ、ヘ | P3 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP3の拡散防止措置を執る。 |
| | 結核菌代謝遺伝子群の機能解析(国立感染症研究所) | 結核菌(クラス3) | 抗酸菌(クラス2) 抗酸菌ファージ、大腸菌、放線菌、枯草菌(クラス1) | 各種遺伝子を破壊した組換え結核菌を作製し、培養細胞に感染させることでその性状解析を行う。 | 1-ハ | P3 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP3の拡散防止措置を執る。 |
| | 弱毒化ワクシニアウイルスワクチン株を用いた効果的で安全な新規癌治療法の開発-VII(鳥取大学) | ワクシニアウイルス(クラス2) | ワクシニアウイルス、EMCV、HSV-1(クラス2) クラゲ、ホタル、ディスクコーラル、ウミシイタケ、ヒュサンゴ、サンゴ、マウス、ヒト、酵母(クラス1) | 弱毒化ワクシニアウイルスワクチン株に各種外来核酸等を導入した組換えワクシニアウイルスを作製し、培養細胞及び免疫不全マウスに感染させることでその性状解析を行う。 | 1-ヘ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | | |
|-----------------------|--|---------------------------------|---|---|------------|--------|--|
| | 遺伝子組換えワクシニアウイルスを用いたHIV粘膜ワクチンならびに花粉症ワクチンの開発(東京都医学総合研究所) | ワクシニアウイルス(クラス2) | HIV、SHIV(クラス3) SIV、EMCV(クラス2) T7バクテリオファージ、ヒト、スギ、マウス(クラス1) | ワクシニアウイルスに各種外来核酸等を導入した組換えワクシニアウイルスを作製し、培養細胞及びマウスに感染させることでその性状解析を行う。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が6件。 | | | | | | | |
| 第95回 (H25.7.23) | Targeted RNA recombination法を用いた組み換えヒトコロナウイルスの作製(国立感染症研究所) | ヒトコロナウイルス(クラス2) | ヒトコロナウイルスの各亜型(クラス2)、マウス肝炎ウイルス(クラス2) オワンクラゲ(クラス1) | ヒトコロナウイルスに各種外来核酸や変異を導入した組換えヒトコロナウイルスを作製し、培養細胞に感染させることでその性状解析を行う。 | 1-へ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| | Bas-Congoウイルスの組換えN・G蛋白質の発現および特異抗血清/シュードタイプVSVの作製(国立感染症研究所) | 大腸菌、バキュロウイルス(クラス1) VSV(クラス2) | Bas-Congoウイルス(未分類) オワンクラゲ、ヒト(クラス1) | Bas-CongoウイルスのN・G蛋白質をクローニングし、大腸菌での発現、またはバキュロウイルスに導入後、培養細胞に感染させることでその性状解析を行う。また、Bas-CongoウイルスのG蛋白質を外套させたシュードタイプVSVを作製し、培養細胞に感染させることでその性状解析を行う。 | 1-イ | P1、P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1、P2の拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|--|-------------------------------------|--|---|------------|---------|---|
| オオイトウイルス・フクオカウイルスの組換え蛋白質の発現および特異抗血清／シュードタイプVSVの作製(国立感染症研究所) | 大腸菌、バキュロウイルス(クラス1) VSV(クラス2) | オオイトウイルス、フクオカウイルス(未分類) オワンクラゲ、ヒト(クラス1) | オオイトウイルス・フクオカウイルスのN・G蛋白質をクローニングし、大腸菌での発現、またはバキュロウイルスに導入後、培養細胞に感染させることでその性状解析を行う。また、オオイトウイルス・フクオカウイルスのG蛋白質を外套させたシュードタイプVSVを作製し、培養細胞に感染させることでその性状解析を行う。 | 1-イ | P1、P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1、P2の拡散防止措置を執る。 |
| B型肝炎ウイルスの遺伝子型に依存した複製増殖機構の解析-阪大竹原-2(大阪大学) | B型肝炎ウイルス(クラス2) | B型肝炎ウイルス(A~Cタイプ)(クラス2) 合成核酸(クラス1) | B型肝炎ウイルスの各種キメラ株の作製、人工合成核酸を導入などによる組換えB型肝炎ウイルスを作製し、培養細胞に感染させるほか、マウス体内で組換えB型肝炎ウイルスを発現させることでその性状解析を行う。 | 1-ヘ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| B型肝炎ウイルスのレセプターを発現させた細胞株、並びにトランスジェニックマウスの作製(大阪大学) | マウス(クラス1) | ヒト、合成核酸(クラス1) | B型肝炎ウイルスのレセプター遺伝子が導入されたTgマウスを作製し、野生型のB型肝炎ウイルスを接種することでその性状解析を行う。 | 3-ロ | P1A、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1A、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| 高病原性鳥インフルエンザウイルスのヘマグルチンを発現する遺伝子組換え鳥パラミクソウイルス10型をリバースジェネティクス法により作製するためのcDNAクローニングおよびウイルスタンパク質発現プラスミドの構築(独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構) | 大腸菌(クラス1) | 高病原性鳥インフルエンザウイルス(クラス3) 鳥パラミクソウイルス10型(未分類) D型肝炎ウイルス(クラス2) T7ファージ(クラス1) | 鳥パラミクソウイルス10型の遺伝子と高病原性鳥インフルエンザウイルスのHA遺伝子(弱毒改変済み)を連結した遺伝子を大腸菌にクローニングする。また、鳥パラミクソウイルス10型のタンパク質発現遺伝子を大腸菌にクローニングする。 | 1-イ | P1 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1の拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|---|-------------------|--|---|------------|--------|--|
| VSVを用いた遺伝子導入による大脳皮質領野形成のパターン解析研究(理化学研究所) | VSV(クラス2) | SV40、ジフテリア菌、LCMV(クラス2) グラム陽性球菌、P1ファージ、マウス、オワンクラゲ、スナギンチャク(クラス1) | VSVに各種変異及び各種外来核酸の導入などによる組換えVSVを作製し、培養細胞に感染させるほか、マウス体内で組換えVSVを発現させることでその性状解析を行う。 | 1-ヘ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| 組換えヒトパピローマウイルスを用いた生活環と発がん機構の解析(2)(国立がん研究センター) | ヒトパピローマウイルス(クラス2) | CMV、SV40、HSV(クラス2) バクテリオファージ、オワンクラゲ、Discosoma sp、Gaussia princeps、大腸菌、Aspergillus terreus(クラス1) | ヒトパピローマウイルスに各種変異及び各種外来核酸を導入した組換えヒトパピローマウイルスを作製し、培養細胞に感染させることでその性状解析を行う。 | 1-ヘ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|---|-----------------------------------|---|---|------------|-----------|---|
| <p>クラス4に分類されるウイルス由来の蛋白質の構造解析(九州大学)</p> | <p>大腸菌(クラス1)</p> <p>VSV(クラス2)</p> | <p>エボラウイルス、マールブルグウイルス、ニパウイルス、ヘンドラウイルス、クリミアコンゴ出血熱ウイルス、ラッサウイルス(クラス4)</p> <p>SV40、インフルエンザウイルス(クラス2)</p> <p>人工合成核酸</p> <p>ディスクコーラル、オワンクラゲ、ホタル(クラス1)</p> | <p>クラス4に分類されるウイルス由来のタンパク質遺伝子を大腸菌に導入し、各タンパク質を発現させることで、その性状を解析する。また、クラス4に分類されるウイルス由来のG蛋白質を外殻させたシュードタイプVSVを作製し、培養細胞に感染させることでその性状解析を行う。</p> | <p>1-ロ</p> | <p>P2</p> | <p>宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。</p> |
| <p>結核菌の有する病原遺伝子の破壊株の作製(V)(国立国際医療研究センター)</p> | <p>結核菌(クラス3)</p> | <p>抗酸菌(クラス2)</p> <p>マイコバクテリオファージ(クラス1)</p> | <p>各種遺伝子を破壊した組換え結核菌を作製し、培養細胞に感染させることでその性状解析を行う。</p> | <p>1-ハ</p> | <p>P3</p> | <p>宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP3の拡散防止措置を執る。</p> |

| | | | | | | | |
|-----------------------|---|-------------------------------------|--|--|-----|----|------------------------------------|
| | 新規ナイロウイルス属LPHウイルスおよびSFTSウイルスタンパク質発現系の作成(北海道大学) | 大腸菌、バキュロウイルス(クラス1) | Leopards Hill ウィルス(未分類)、Severe fever with thrombocytopenia syndrome ウィルス(未分類) サイトメガロウィルス(クラス2) オワンクラゲ、ホタル、ウミシイタケ(以上、クラス1) 人工合成核酸 | 新規ナイロウイルス属LPHウイルスおよびSFTSウイルスのタンパク質発現遺伝子、または、これら遺伝子にマーカー遺伝子等を連結した遺伝子を、大腸菌及びバキュロウィルスに導入し、その機能解析等を行う。 | 1-イ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| | ブレビバチルス発現システムを用いた組換えウイルスタンパク質の作製-Ⅱ(北海道大学) | ブレビバチルス、大腸菌(クラス1) | コウモリ由来ヘルペスウイルス(未分類) | コウモリ由来新規ヘルペスウイルスのタンパク質発現遺伝子をブレビバチルスに導入し、タンパク質の機能解析等を行う。また、同ウイルスゲノムをクローニングし、その配列情報の解析を行う。 | 1-イ | P1 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1の拡散防止措置を執る。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が1件。 | | | | | | | |
| 第96回(H25.10.1) | ヒト免疫不全ウイルス1型(HIV-1)およびサル免疫不全ウイルス(SIV)遺伝子を発現する組換え麻疹ウイルスの相補DNAからの作成(国立感染症研究所) | 麻疹ウイルス(クラス2) ワクシニアウイルス(クラス2) | HIV-1(クラス3) D型肝炎ウイルス、脳心筋炎ウイルス、SIV(クラス2) T7バクテリオファージ(クラス1) | T7RNAポリメラーゼ発現ワクシニアウイルス等を用いて、HIV-1及びSIV由来の遺伝子を発現する組換え麻疹ウイルスを作製し、培養細胞に接種することでその性状解析を行う。 | 1-ヘ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|---|-------------------------------------|---|---|------------|--------|--|
| 結核菌の分泌蛋白質Ag85複合体(Ag85A, Ag85B, Ag85C)遺伝子を発現する組換え麻疹ウイルスの相補DNAからの作成(国立感染症研究所) | 麻疹ウイルス(クラス2) ワクシニアウイルス(クラス2) | 結核菌(クラス3) D型肝炎ウイルス、脳心筋炎ウイルス(クラス2) T7バクテリオファージ(クラス1) | T7RNAポリメラーゼ発現ワクシニアウイルス等を用いて、結核菌由来の遺伝子を発現する組換え麻疹ウイルスを作製し、培養細胞に接種することでその性状解析を行う。 | 1-へ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| ラットE型肝炎ウイルスの複製機構の解析と複製に必要な部位の同定(国立感染症研究所) | 大腸菌(クラス1) ラットE型肝炎ウイルス(未分類) | ラットE型肝炎ウイルス(未分類) ラットE型肝炎ウイルスの各種変異体(未分類) | 各種変異を導入した組換えラットE型肝炎ウイルスを作製し、培養細胞やラットに感染させることでその性状解析を行う。 | 1-イ、へ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| Feline morbillivirusの組換えF・H蛋白質の発現(国立感染症研究所) | 大腸菌、バキュロウイルス(クラス1) | ネコモルビリウイルス(未分類) | 間質性腎炎のネコから分離された新規モルビリウイルスのF・H蛋白発現遺伝子を大腸菌及びバキュロウイルスに導入し、その機能解析等を行う。 | 1-イ | P1 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1の拡散防止措置を執る。 |
| 弱毒化ワクシニアウイルスワクチン株を用いた効果的で安全な新規癌治療法の開発-VII(東京大学) | ワクシニアウイルス(クラス2) | 豚テッショウウイルス、EMCV、HSV-I(クラス2) T7ファージ、クラゲ、ホタル、ディスクコーラル、ウミシイタケ、ヒュサンゴ、サンゴ、マウス、ヒト、酵母(クラス1) | 弱毒化ワクシニアウイルスワクチン株に各種外来核酸等を導入した組換えワクシニアウイルスを作製し、培養細胞及び免疫不全マウスに感染させることでその性状解析を行う。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|---|--|--|--|--------------|----------------|--|
| 牛ウイルス性下痢ウイルスのエンベロープタンパク質を発現する組換え牛パラインフルエンザ3型ウイルスの作製(3)(筑波大学) | 牛パラインフルエンザ3型ウイルス(クラス2) ワクシニアウイルス(クラス2) | 牛ウイルス性下痢ウイルス(クラス2) オワンクラゲ(クラス1) T7ファージ(クラス1) | T7RNAポリメラーゼ発現ワクシニアウイルスを用いて、外来核酸を導入した組換え牛パラインフルエンザ3型ウイルスを作製し、培養細胞、ハムスター、マウスに接種することでその性状解析を行う。 | 1-ヘ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| リバースジェネティクス法を用いた高病原性トリインフルエンザウイルスのヘマグルチンを発現する遺伝子組換え鳥パラミクソウイルス2、6、10型の作製(独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構) | 鳥パラミクソウイルス2、6、10型(クラス2) ワクシニアウイルス(クラス2) | 高病原性鳥インフルエンザウイルス(クラス3) T7ファージ(クラス1) | 鳥パラミクソウイルス2、6、10型に変異または高病原性鳥インフルエンザウイルスのHA遺伝子(弱毒改変済み)を導入した遺伝子組換え鳥パラミクソウイルスを作製し、発育鶏卵で増殖後、培養細胞及びマウスに感染させることでその性状解析を行う。 | 1-イ、ヘ 3-イ | P3、P3A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP3、P3Aの拡散防止措置を執る。 |
| 組換えマレック病ウイルスを用いたマレック病の病態解析と新規ワクチン開発(北海道大学) | マレック病ウイルス(クラス2) | ニワトリ、オワンクラゲ、Discosoma striata(クラス1) | 各種遺伝子変異及びレポーター遺伝子を導入した組換えマレック病ウイルスを作製し、培養細胞及びニワトリに接種することでその性状解析を行う。 | 1-ヘ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| 遺伝子変異組換えセンダイウイルスの作製と感染実験その3(広島大学) | センダイウイルス(クラス2) ワクシニアウイルス(クラス2) | D型肝炎ウイルス(クラス2) T7バクテリオファージ(クラス1) | T7RNAポリメラーゼ発現ワクシニアウイルスを用いて、各種変異を導入した組換えセンダイウイルスを作製し、培養細胞、発育鶏卵、マウス及びラットに接種することでその性状解析を行う。 | 1-ヘ 3-イ | P2、P2A、 P3A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2A、P3Aの拡散防止措置を執る。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が7件。 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---------------------|--|-----------------------|---|---|------------|--------|--|
| 第97回 (H25.12.12) | 組換えモルモットサイトメガロウイルスの変異体作製及び感染実験(国立感染症研究所) | モルモットサイトメガロウイルス(クラス2) | イソギンチャク、オワンクラゲ、大腸菌、P1ファージ(クラス1) | 各種変異、レポーター遺伝子を導入した組換えモルモットサイトメガロウイルスを作製し、培養細胞及びモルモットに感染させることでその性状解析を行う。 | 1-ヘ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| | E1蛋白質に変異を導入した風疹ウイルスの作製と培養細胞への感染実験(国立感染症研究所) | 風疹ウイルス(クラス2) | オワンクラゲ、アザミサンゴ、ヒラタクサビライシ、イソギンチャクモドキ(クラス1) | 各種変異、レポーター遺伝子を導入した組換え風疹ウイルスを作製し、培養細胞に感染させることでその性状解析を行う。 | 1-ヘ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| | グループIIイントロンの挿入による野兎病菌病原性関与遺伝子破壊株と相補株の作出とその病原性確認(国立感染症研究所) | 野兎病菌(クラス3) | Lactococcus lactis、大腸菌(クラス1) | 各種変異、マーカー遺伝子を導入した組換え野兎病菌を作製し、培養細胞及びマウスに感染させることでその性状解析を行う。 | 1-ハ 3-イ | P3、P3A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP3、P3Aの拡散防止措置を執る。 |
| | 光合成能を強化した葉緑体形質転換タバコの特定制網室における栽培試験(筑波大学) | タバコ(クラス1) | Synechococcus elongates、大腸菌(クラス1) 人工合成核酸 | 各種遺伝子を挿入し、葉緑体の形質転換を行った組換えタバコを特定制網室において栽培することで、その性状解析を行う。 | 4-口 | 特定制網室 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮して特定制網室の拡散防止措置を執る。 |
| | 光合成能を強化した葉緑体形質転換タバコの特定制網室における栽培試験と生物多様性影響評価(奈良先端科学技術大学院大学) | タバコ(クラス1) | Synechococcus elongates、大腸菌(クラス1) 人工合成核酸 | 各種遺伝子を挿入し、葉緑体の形質転換を行った組換えタバコを特定制網室において栽培することで、その性状解析を行う。 | 4-口 | 特定制網室 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮して特定制網室の拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|--|---------------------------|--|---|--------------------|---------------|---|
| <p>霊長類T細胞白血病ウイルス(PTLV)遺伝子を発現する組換えワクシニアウイルスの作製と感染実験(京都大学)</p> | <p>ワクシニアウイルス(クラス2)</p> | <p>口蹄疫ウイルス(クラス3) 牛痘ウイルス、脳心筋炎ウイルス、HTLV-1、STLV-1(クラス2) T7バクテリオファージ、オワンクラゲ、ホタル、ウミシイタケ、サンゴ(クラス1)</p> | <p>霊長類T細胞白血病ウイルス(PTLV)遺伝子等を発現する組換えワクシニアウイルスを作製し、培養細胞、マウス及びサルに感染させることでその性状解析を行う。</p> | <p>1-へ 3-イ</p> | <p>P2、P2A</p> | <p>宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。</p> |
| <p>卵白アルブミン発現単純ヘルペスウイルスに対するT細胞の反応性の解析(鳥取大学)</p> | <p>単純ヘルペスウイルス1型(クラス2)</p> | <p>ワクシニアウイルス、サイトメガロウイルス(クラス2) ニワトリ、オワンクラゲ(クラス1)</p> | <p>各種抗原ペプチド、レポーター遺伝子を導入した組換え単純ヘルペスウイルス1型を作製し、培養細胞に感染させることでその性状解析を行う。</p> | <p>1-へ</p> | <p>P2</p> | <p>宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。</p> |

| | | | | | | |
|---|--------------------------|--|--|--------------------|---------------|---|
| <p>子宮頸がん細胞を標的とした制限増殖型組換えアデノウイルスの開発(2)(国立がん研究センター)</p> | <p>アデノウイルス(クラス2)</p> | <p>口蹄疫ウイルス(クラス3) サイトメガロウイルス、SV40、HSV-1、HPV-16、BPV-1、化膿レンサ球菌(クラス2) 大腸菌、Flavobacterium、ヒカリコメツキムシ、オワンクラゲ、Discosoma sp、ニワトリ、ウサギ、マウス、ヒト、P1バクテリオファージ(クラス1)</p> | <p>各種変異、レポーター遺伝子を導入した組換えアデノウイルスを作製し、ヒト子宮頸がん腫瘍細胞、動物に感染させることでその抗腫瘍効果検証などの性状解析を行う。</p> | <p>1-ヘ 3-イ</p> | <p>P2、P2A</p> | <p>宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。</p> |
| <p>ウエストナイルウイルスの組換えウイルス様粒子(virus-like particle :VLP)を用いた感染機構の解析(北海道大学)</p> | <p>ウエストナイルウイルス(クラス3)</p> | <p>口蹄疫ウイルス(クラス3) 脳心筋炎ウイルス、D型肝炎ウイルス、SV4(クラス2) オワンクラゲ、ホタル、ウミシイタケ(クラス1)</p> | <p>レポーター遺伝子や各種遺伝子を挿入した、構造遺伝子を欠損した組換えウエストナイルウイルスを作製し、培養細胞及びマウスに感染させることでその性状解析を行う。</p> | <p>1-ハ 3-イ</p> | <p>P2、P2A</p> | <p>宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。</p> |
| <p>ムンプスウイルスの相補DNAからの作製と、培養細胞や実験動物への感染実験(九州大学)</p> | <p>ムンプスウイルス(クラス2)</p> | <p>オワンクラゲ、バクテリオファージ(クラス1)</p> | <p>各種変異、レポーター遺伝子を有する組換えムンプスウイルスを作製し、培養細胞及び動物に感染させることでその性状解析を行う。</p> | <p>1-ヘ 3-イ</p> | <p>P2、P2A</p> | <p>宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。</p> |

| | | | | | | | |
|-----------------------|---|---|---|---|------------|--------|--|
| | ウイルスエンハンサーラップを利用した脳血管内皮細胞特異的な遺伝子発現調節エレメントの作成(国立長寿医療研究センター) | マウスポリオーマウイルス(クラス2) | HCMV(クラス2) マウス(クラス1) | 各種遺伝子変異を導入した組換えマウスポリオーマウイルスを作製し、培養細胞に感染させることでその性状解析を行う。 | 1-へ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が6件。 | | | | | | | |
| 第98回 (H26.2.25) | Helicobacter属病原細菌の感染機構の解析(東京大学) | 大腸菌、バキュロウイルス、酵母(クラス1) Helicobacter bizzoeronii、 Helicobacter salomonis、 Candidatus Helicobacter heilmannii(クラス未分類) | Helicobacter bizzoeronii、 Helicobacter salomonis、 Candidatus Helicobacter heilmannii(クラス未分類) 黄色ブドウ球菌(クラス2) オワンクラゲ、六放サンゴ、イソギンチャク(クラス1) | 組換え大腸菌、バキュロウイルス及び酵母を用いて、クラス未分類であるHelicobacter属病原細菌の各種タンパク質を発現させ、その性状解析を行う。 また、レポーター遺伝子等を挿入した組換えHelicobacter属病原細菌を作製し、培養細胞及び動物に感染させることでその性状解析を行う。 | 1-イ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| | レポーター遺伝子または重症熱性血小板減少症候群ウイルス(SFTSV)遺伝子を発現する組換えワクシニアウイルスの作製(戸山)(国立感染症研究所) | ワクシニアウイルス(クラス2) | SFTSV(未分類) 造礁サンゴ、ホタル、ウミシイタケ、大腸菌、ヒト(クラス1) | クラス未分類であるSFTSVの遺伝子をレポーター遺伝子とともに導入した組換えワクシニアウイルスを産出し、培養細胞に感染させることで、その性状解析を行う。 | 1-イ、へ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|---|---|--|---|-------|--------|--|
| レポーター遺伝子または重症熱性血小板減少症候群ウイルス(SFTSV)遺伝子を発現する組換えワクシニアウイルスの作製(村山)(国立感染症研究所) | ワクシニアウイルス(クラス2) | SFTSV(未分類) 造礁サンゴ、ホタル、ウミシイタケ、大腸菌、ヒト(クラス1) | クラス未分類であるSFTSVの遺伝子をレポーター遺伝子とともに導入した組換えワクシニアウイルスを産出し、培養細胞に感染させることで、その性状解析を行う。 | 1-イ、ヘ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| マウスノロウイルスとのキメラウイルス作製による、感染性ヒトノロウイルスの作製の試み(国立感染症研究所) | ヒトノロウイルス(クラス2) | マウスノロウイルス(クラス2) | マウスノロウイルスの遺伝子を導入した組換えヒトノロウイルスを産出し、培養細胞に感染させることで、その性状解析を行う。 | 1-ヘ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| ヒトノロウイルス、及びマウスノロウイルスのゲノム遺伝子にGFP、或いはVenus遺伝子組み込んだ組換えウイルスの作製(国立感染症研究所) | マウスノロウイルス、ヒトノロウイルス(クラス2) | オワンクラゲ(クラス1) | レポーター遺伝子を導入した組換えヒトノロウイルス、または、組換えマウスノロウイルスを産出し、培養細胞に感染させることで、その性状解析を行う。 | 1-ヘ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| ラット、フェレットE型肝炎ウイルスの複製機構の解析と複製に必須な部位の同定(国立感染症研究所) | 大腸菌(クラス1) ラットE型肝炎ウイルス、フェレットE型肝炎ウイルス(未分類) | ラットE型肝炎ウイルス、フェレットE型肝炎ウイルス(未分類) ラットE型肝炎ウイルスの各種変異体、フェレットE型肝炎ウイルスの各種変異体(未分類) | 各種変異を導入した組換えラットE型肝炎ウイルス及び組換えフェレットE型肝炎ウイルスを作製し、培養細胞に感染、及びラット又はフェレットに感染させることでその性状解析を行う。 | 1-イ、ヘ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | | |
|------------------------|---|----------------------------|-------------------------------------|---|--------------|---------------|---|
| | 結核菌におけるタンパク質の発現-V(国立国際医療研究センター) | 結核菌(クラス3) | オワンクラゲ、サング(クラス1) | マーカー遺伝子やタグ遺伝子、リボソームRNA発現遺伝子を導入すると共に、アミノ酸置換等の変異を導入した組換え結核菌を作製し、培養細胞に感染させることでその性状解析を行う。 | 1-ハ | P3 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP3の拡散防止措置を執る。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が13件。 | | | | | | | |
| 第99回 (H26.5.20) | パラインフルエンザ2型ウイルスを用いた新規ワクチン開発(独立行政法人 医薬基盤研究所) | パラインフルエンザウイルス2型(クラス2) | 結核菌(クラス3) BCG(クラス2) オワンクラゲ、ヒト(クラス1) | 各種外来遺伝子や変異を導入した組換えパラインフルエンザ2型ウイルスを作製し、培養細胞及び動物へ接種することで、その性状の解析を行う。 | 1-イ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| | デングウイルスの全長あるいは部分ドメインを発現する組換えワクシニアウイルスの作製と免疫誘導能の解析(岩手医科大学) | ワクシニアウイルス(クラス2) | デングウイルス(クラス2) 大腸菌(クラス1) | デングウイルスの各遺伝子の全長、部分ドメイン、又は、それらの融合配列を発現する組換えワクシニアウイルスを作製し、培養細胞や動物へ接種し、その性状の解析を行う。 | 1-ハ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| | パラインフルエンザ2型ウイルスを用いた新規ワクチン開発(三重大学) | パラインフルエンザウイルス2型(クラス2) | 結核菌(クラス3) BCG(クラス2) オワンクラゲ、ヒト(クラス1) | 各種外来遺伝子や変異を導入した組換えパラインフルエンザ2型ウイルスを作製し、培養細胞及び動物へ接種することで、その性状の解析を行う。 | 1-イ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| | H7N7亜型高病原性鳥インフルエンザウイルスの病原性決定遺伝子の解析(その2)(滋賀医科大学) | A型インフルエンザウイルス(各亜株)(クラス2、3) | A型インフルエンザウイルス(各亜株、弱毒改変型)(クラス2、3) | リバーシジェネティクス法を用いて遺伝子組換えインフルエンザウイルスを作製し、培養細胞及び動物へ接種することで、その性状の解析を行う。 | 1-ハ、へ 3-イ | P2、P3、P2A、P3A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P3、P2A、P3Aの拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|---|----------------------------------|---|--|------------|-------------------|---|
| 疎水性細菌を宿主とした環境ゲノムライブラリー一の構築(大阪大学) | <i>Rhodococcus opacus</i> (クラス1) | コンポスト中に含まれる微生物 | グラム陽性細菌 <i>Rhodococcus opacus</i> を用いて、コンポスト(堆肥)中に含まれる微生物のゲノムライブラリーを構築する。 | 1-イ | P1 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1の拡散防止措置を執る。 |
| ヒト免疫不全ウイルス1型感染ライフサイクルを左右する細胞因子研究に基づく新たな抗ウイルス戦略の構築(東京医科歯科大学) | HIV-1(クラス3) | HSV-1、脳心筋炎ウイルス(クラス2) オワンクラゲ、造礁サンゴ、ヒト、ホタル(クラス1) | 各種外来遺伝子を導入した組換えHIV-1を作製し、培養細胞へ接種することで、その性状の解析を行う。 | 1-ハ、ヘ | P3 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP3の拡散防止措置を執る。 |
| 高病原性トリインフルエンザウイルス遺伝子組換えワクチニアウイルスを用いた宿主免疫応答の解析(東京都医学総合研究所) | ワクチニアウイルス(クラス2) | A型インフルエンザウイルス(高病原性)、口蹄疫ウイルス(クラス3) 脳心筋炎ウイルス(クラス2) ヒト、オワンクラゲ、ホタル、ウミシイタケ、サンゴ、T7バクテリオファージ(クラス1) | レポーター遺伝子や各種遺伝子、変異を挿入した組換えワクチニアウイルスを作製し、培養細胞及び動物に感染させるとともに、さらに、野生型のインフルエンザウイルスを感染させることでその性状解析を行う。 | 1-ヘ 3-イ | P2、P3、 P2A、P3A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P3、P2A、P3Aの拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|--|------------------------|--|--|--------------------|---------------------------|--|
| <p>B型肝炎ウイルス、インフルエンザウイルス遺伝子を発現する組換えワクシニアウイルスの作製と感染実験 (東京都医学総合研究所)</p> | <p>ワクシニアウイルス(クラス2)</p> | <p>口蹄疫ウイルス(クラス3) B型肝炎ウイルス、インフルエンザウイルス(低病原性)、脳心筋炎ウイルス(クラス2) ヒト、オワンクラゲ、ホタル、ウミシイタケ、サンゴ、T7バクテリオファージ(クラス1)</p> | <p>レポーター遺伝子や各種遺伝子を挿入した組換えワクシニアウイルスを作製し、培養細胞及び動物に感染させるとともに、さらに、野生型のインフルエンザウイルスを感染させることでその性状解析を行う。</p> | <p>1-へ 3-イ</p> | <p>P2、P3、 P2A、P3A</p> | <p>宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P3、P2A、P3Aの拡散防止措置を執る。</p> |
| <p>TVAを発現するトランスジェニックゼブラフィッシュの作成(独立行政法人 理化学研究所)</p> | <p>ゼブラフィッシュ(クラス1)</p> | <p>口蹄疫ウイルス(クラス3) 狂犬病ウイルス弱毒化株、VSV、HSV、破傷風菌(クラス2) ウズラ、メダカ、オワンクラゲ、サンゴ、大腸菌、酵母、Thosea asigna virus、P1バクテリオファージ、T7バクテリオファージ、T3バクテリオファージ、ラット、ニワトリ、クラミドモナス、古細菌(クラス1)</p> | <p>TVA発現トランスジェニックゼブラフィッシュを作成する。</p> | <p>3-ロ</p> | <p>P1A</p> | <p>宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1Aの拡散防止措置を執る。</p> |

| | | | | | | | |
|-----------------------|---|---|---|--|-----|----|------------------------------------|
| | F、HN、M遺伝子変異リコンビナントウイルスを使ったパラミクソウイルス出芽機構の解明(和歌山県立医科大学) | センダイウイルス、ムンプスウイルス、パラインフルエンザウイルス、SV5(クラス2) | センダイウイルス、ムンプスウイルス、パラインフルエンザウイルス、SV5の各種変異体(クラス2) | 各パラミクソウイルスの各遺伝子に変異を導入した組換えパラミクソウイルスを作製し、培養細胞へ接種することで、その性状の解析を行う。 | 1-へ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が5件。 | | | | | | | |
| 第100回 (H26.7.29) | 百日咳類縁菌Bordetella holmesiiの病原性解析(国立感染症研究所) | Bordetella holmesii(クラス未分類) | 大腸菌(クラス1) | 組換え百日咳類縁菌Bordetella holmesiiを作製し、培養細胞へ接種し、その性状の解析を行う。 | 1-イ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|--|--|--|--|----------------------|-------------------|---|
| <p>弱毒性狂犬病ウイルスによる逆行性単シナプス分子輸送を応用したマーモセットにおける随意運動に関する神経回路の解析(国立精神・神経医療研究センター)</p> | <p>マーモセット(クラス1)</p> <p>狂犬病ウイルス弱毒化株(クラス2)</p> | <p>口蹄疫ウイルス(クラス3) サイトメガロウイルス、Woodchuck hepatitis virus、狂犬病ウイルス弱毒化株、SV40、鶏白血病ウイルス(クラス2) ニワトリ、ウサギ、マウス、マーモセット、ヒト、Thosea asignaウイルス(クラス1)</p> <p>口蹄疫ウイルス(クラス3) 脳心筋炎ウイルス(クラス2) オワンクラゲ、サンゴ、ヒト、Thosea asignaウイルス(クラス1)</p> | <p>各種外債遺伝子を導入した部位特異的制限増殖型の組換え狂犬病ウイルスを作成するとともに、ウイルスレセプターを付与されたマーモセットを作成し、これらの接種実験を行うことでその性状解析を行う。</p> | <p>1-へ 3-イ、ロ</p> | <p>P2、P2A</p> | <p>宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。</p> |
| <p>抗酸菌分泌タンパク遺伝子を組換えた麻疹ウイルスに対する、麻疹ウイルスレセプター(CD46、CD150)遺伝子導入マウスの免疫誘導能に関する研究(日本大学)</p> | <p>マウス(クラス1)</p> <p>麻疹ウイルス(クラス2)</p> | <p>ヒト(クラス1)</p> <p>非定型抗酸菌(クラス2)</p> | <p>麻疹ウイルスレセプターを付与したトランスジェニックマウスを作成し、各種外来核酸等を導入した組換え麻疹ウイルスを接種することで、その性状の解析を行う。</p> | <p>1-へ 3-イ、ロ</p> | <p>P1A、P2、P2A</p> | <p>宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1A、P2、P2Aの拡散防止措置を執る。</p> |

| | | | | | | |
|--|-------------------------------|--|--|--------------|---------------|---|
| 糖タンパク質欠損型水疱性口内炎ウイルスベクターを用いた遺伝子導入システムによる神経回路機能の解析(福島県立医科大学) | 水疱性口内炎ウイルス(クラス2) | CMV、ウッドチャック肝炎ウイルス、SV40、HDV(クラス2) オワンクラゲ、イソギンチャク、ヒト、クラミドモナス、高度好塩性アルカリ古細菌、ニワトリ、ウサギ、P1ファージ、ヒト、マウス肝細胞ウイルス、T7バクテリオファージ(クラス1) | 各種外来遺伝子を導入し、糖タンパク質を欠損させた組換え水疱性口内炎ウイルスを作製し、糖タンパク質を発現する培養細胞に感染させることで、限定的に増殖させることで、その性状解析を行う。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| 組換えインフルエンザウイルスの作成(北海道大学) | A型インフルエンザウイルス(各亜株)(クラス3、クラス2) | A型インフルエンザウイルス(各亜株)(クラス3、クラス2) VSV(クラス2) オワンクラゲ、ホタル、ウミウシ、サンゴ、イソギンチャクモドキ、ヒト、マウス(クラス1) | A型インフルエンザウイルスの株間キメラ、各種外来遺伝子の導入、VSVのG蛋白の導入等を行った遺伝子組換えインフルエンザウイルスを作成し、培養細胞及び各種動物へ接種し、その性状の解析を行う。 | 1-ハ、へ 3-イ | P2、P2A、P3、P3A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2A、P3、P3Aの拡散防止措置を執る。 |
| 百日咳類縁菌Bordetella holmesiiの定着機能に関する研究(北里研究所) | Bordetella holmesii(クラス未分類) | 大腸菌(クラス1) | 組換え百日咳類縁菌Bordetella holmesiiを作製し、培養細胞や動物へ接種し、その性状の解析を行う。 | 1-イ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|---|-------------------------|--|---|------------|---------|---|
| 低病原性鳥インフルエンザウイルス(H9N2)の哺乳類馴化機構の解明(麻布獣医学園) | インフルエンザウイルス(低病原性)(クラス2) | インフルエンザウイルス(高病原性)(クラス3) | インフルエンザウイルス(高病原性)由来の遺伝子のうち、HA遺伝子及びNA遺伝子以外の内部遺伝子の一つと置換した組換えインフルエンザウイルスを作成し、培養細胞及び動物卵へ接種し、その性状の解析を行う。 | 1-へ 3-イ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| RCAS/tv-aシステムを用いた脳腫瘍マウスモデルの開発と使用(名古屋大学) | マウス(クラス1) | SV40、脳心筋炎ウイルス、HSV-1(クラス2) ウズラ、ヒト、マウス、ホタル、ダイズ、出芽酵母、P1バクテリオファージ、ウサギ、大腸菌(クラス1) | TVA発現トランスジェニックマウスを作成するとともに、レトロウイルスベクターを接種し、腫瘍モデルマウスの性状の解析を行う。 | 3-ロ | P1A、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1A、P2Aの拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|--|--|--|---|-----------------|-------------------|---|
| <p>組換えVSVウイルスによるTVAを発現するトランスジェニックゼブラフィッシュへの遺伝子導入(独立行政法人理化学研究所)</p> | <p>ゼブラフィッシュ(クラス1)</p> <p>VSV(クラス2)</p> | <p>口蹄疫ウイルス(クラス3)</p> <p>狂犬病ウイルス弱毒化株、VSV、HSV、破傷風菌(クラス2)</p> <p>ウズラ、メダカ、オワンクラゲ、サンゴ、大腸菌、酵母、Thosea asigna virus、P1バクテリオファージ、T7バクテリオファージ、T3バクテリオファージ、ラット、ニワトリ、クラミドモナス、古細菌(クラス1)</p> <p>狂犬病ウイルス弱毒化株、CMV、破傷風菌(クラス2)</p> <p>T7バクテリオファージ、オワンクラゲ、サンゴ、クラミドモナス、古細菌(クラス1)</p> | <p>TVA発現トランスジェニックゼブラフィッシュを作成するとともに、各種外来核酸を導入した組換えVSVを作成し、作成したゼブラフィッシュに接種することで、その性状の解析を行う。</p> | <p>1-へ3-イ、ロ</p> | <p>P1A、P2、P2A</p> | <p>宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1A、P2、P2Aの拡散防止措置を執る。</p> |
| <p>蛍光遺伝子mCherryを導入した組み換えHTLV-1感染in vivo イメージング解析法の開発(国立感染症研究所)</p> | <p>HTLV-1(クラス2)</p> | <p>イソギンチャクモドキ(クラス1)</p> | <p>蛍光遺伝子mCherryを導入し、VSV-Gをさらに外套させた組換えHTLV-1を作成し、培養細胞及びマウスに感染させることでその性状解析を行う。</p> | <p>1-へ3-イ</p> | <p>P2、P2A</p> | <p>宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。</p> |

| | | | | | | | |
|-----------------------|--|---|---|--|--------------|--------|--|
| | ヒトsuppressors of cytokine signaling 3遺伝子を導入した腫瘍溶解性単純ヘルペスウイルス1型を用いた消化器癌細胞株治療実験(和歌山県立医科大学) | 単純ヘルペスウイルス1型(クラス2) | CMV、SV40(クラス2) 大腸菌、ヒト、ウシ、バクテリオファージ(クラス1) | ヒトsuppressors of cytokine signaling 3遺伝子を導入した組換え単純ヘルペスウイルス1型を作製し、培養細胞に感染させることでその性状解析を行う。 | 1-へ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が7件。 | | | | | | | |
| 第101回 (H26.10.14) | 遺伝子操作系を利用したムンプスウイルスの宿主特異性の解析(国立感染症研究所) | 大腸菌(クラス1) ムンプスウイルスの各亜型(クラス2、未分類) | ABムンプスウイルス(未分類) ムンプスウイルスの各亜型(クラス2、未分類) | ABムンプスウイルスと既知のムンプスウイルスのキメラウイルスを作成し、培養細胞及び動物に感染させることでその性状解析を行う。 | 1-イ、へ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| | 中東呼吸器症候群コロナウイルス(MERS-CoV)感受性マウスの作製(独立行政法人 国立国際医療研究センター) | マウス(クラス1) | ヒト、大腸菌、P1バクテリオファージ(クラス1) | 中東呼吸器症候群コロナウイルス感染レセプターを導入した遺伝子組換えマウスを作成し、系統維持を行う。 | 3-ロ | P1A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1Aの拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|---|--|--|---|----------------------|---------------|---|
| <p>フラビウイルス感染サルモデルの確立(京都大学)</p> | <p>ダニ媒介性脳炎ウイルス(クラス3) デングウイルス(クラス2)</p> | <p>インフルエンザウイルス(低病原性)、センダイウイルス、マウスガンマヘルペスウイルス、マウスサイトメガロウイルス、ECMV(クラス2) オワンクラゲ、イソギンチャク、ホタル、ウミシイタケ、ガウシア、ヒト、サル(クラス1)</p> | <p>各種外来遺伝子やレポーター遺伝子、変異を導入した遺伝子組換えフラビウイルスを作製し、培養細胞及び動物に感染させることでその性状解析を行う。</p> | <p>1-ハ、ヘ 3-イ</p> | <p>P3、P3A</p> | <p>宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP3、P3Aの拡散防止措置を執る。</p> |
| <p>組換えウイルスを用いたチクングニアウイルス、ロスリバーウイルス、シンドビウイルスの病原性解析(国立感染症研究所)</p> | <p>チクングニアウイルス(クラス3) ロスリバーウイルス、シンドビウイルス(クラス2)</p> | <p>チクングニアウイルス(クラス3) ロスリバーウイルス、シンドビウイルス(クラス2) オワンクラゲ(クラス1)</p> | <p>各種外来核酸、点変異、レポーター遺伝子を挿入した組換えチクングニアウイルス、組換えロスリバーウイルス、組換えシンドビウイルスを作成し、培養細胞に感染させることでその性状解析を行う。</p> | <p>1-ハ、ヘ</p> | <p>P2、P3</p> | <p>宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P3の拡散防止措置を執る。</p> |

| | | | | | | |
|--|--|---|---|--------------------|---------------|---|
| <p>組換え麻疹ウイルスを接種した麻疹ウイルスレセプター発現マウス及び麻疹ウイルスレセプター発現/インターフェロンα/βレセプター欠損マウスの免疫応答の解析(国立感染症研究所)</p> | <p>麻疹ウイルス(クラス2)</p> <p>麻疹ウイルス(クラス2)</p> <p>麻疹ウイルス(クラス2)</p> <p>麻疹ウイルス(クラス2)</p> <p>マウス(クラス1)</p> | <p>HIV-1(クラス3) D型肝炎ウイルス、脳心筋炎ウイルス、SIV(クラス2)</p> <p>結核菌(クラス3) D型肝炎ウイルス、脳心筋炎ウイルス(クラス2)</p> <p>D型肝炎ウイルス、脳心筋炎ウイルス(クラス2) オワンクラゲ(クラス1)</p> <p>D型肝炎ウイルス、脳心筋炎ウイルス(クラス2) ニワトリ(クラス1)</p> <p>ヒト、大腸菌(クラス1)</p> | <p>各種外来遺伝子を導入した遺伝子組換え麻疹ウイルスを作成し、麻疹ウイルスレセプターを付与された遺伝子組換えマウスに感染させることでその性状解析を行う。</p> | <p>1-へ 3-イ</p> | <p>P2、P2A</p> | <p>宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。</p> |
| <p>ムンプスウイルスFおよびHN蛋白質を発現する組換え弱毒麻疹ワクチンウイルスAIK-C株の免疫原性の評価(国立感染症研究所)</p> | <p>麻疹ウイルス(クラス2)</p> | <p>ムンプスウイルス(クラス2)</p> | <p>各種外来遺伝子を導入した遺伝子組換え麻疹ウイルスを作成し、動物に感染させることでその性状解析を行う。</p> | <p>1-へ 3-イ</p> | <p>P2、P2A</p> | <p>宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。</p> |

| | | | | | | | |
|-----------------------|---|--|---|--|------------|---------------|---|
| | 中東呼吸器症候群コロナウイルス(MERS-CoV)感受性マウスの作製とウイルス接種実験(国立感染症研究所) | マウス(クラス1) | ヒト、大腸菌、P1バクテリオファージ(クラス1) | 中東呼吸器症候群コロナウイルスレセプターを付与された遺伝子組換えマウスに、中東呼吸器症候群コロナウイルスを感染させることでその性状解析を行う。 | 3-ロ | P1A、P3A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1A、P3Aの拡散防止措置を執る。 |
| | カニクイザルにおける野兎病菌 pdpC遺伝子破壊株のワクチン効果に関する検討(国立感染症研究所) | 野兎病菌(クラス3) | Lactococcus lactis(クラス1) | 外来遺伝子を導入した遺伝子組換え野兎病菌を作成し、動物に感染させることでその性状解析を行う。 | 1-ハ 3-イ | P3A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP3Aの拡散防止措置を執る。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が6件。 | | | | | | | |
| 第102回 (H26.12.12) | デングウイルスの外殻タンパク(pre M+E)とNS-1を発現する弱毒麻疹ワクチンウイルスの作製(北里大学) | 麻疹ウイルスのうち、ワクチン株(クラス1) ワクシニアウイルス(クラス2) | デングウイルス(クラス2)、麻疹ウイルスのうち、ワクチン株、T7バクテリオファージ(クラス1) | T7RNAポリメラーゼ発現ワクシニアウイルス等を用いて、麻疹ウイルスのワクチン株に、デングウイルス由来の核酸を導入した組換え麻疹ウイルスを作製し、ラットに感染させる。 | 1-ヘ 3-イ | P1、P2、 P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1、P2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| | 外来遺伝子を導入した組換えニヤマニニヤウイルスによるニヤマニニヤウイルスベクターの開発(P2レベル)(鹿児島大学) | 大腸菌(クラス1) ニヤマニニヤウイルス(実験分類未決定) | ニヤマニニヤウイルス(実験分類未決定)、オワンクラゲ(クラス1)等 | 変異又は外来遺伝子を導入したニヤマニニヤウイルスを作成し、培養細胞等に接種する。また、変異又は外来遺伝子を導入したニヤマニニヤウイルスをコードするプラスミドを作成し、大腸菌に導入する。 | 1-イ、ヘ | P1、P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1、P2の拡散防止措置を執る。 |
| | 反芻獣感染性オルソブニヤウイルス属ウイルスの遺伝子操作(P2)(鹿児島大学) | 大腸菌(クラス1) オルソブニヤウイルス(クラス2) | オルソブニヤウイルス、D型肝炎ウイルス(クラス2)、オワンクラゲ、ヒト、ホタル(クラス1)等 | 様々なオルソブニヤウイルスについて、種間キメラウイルス及び変異及びレポーター遺伝子を導入した遺伝子組換えオルソブニヤウイルスを作製する。 | 1-ヘ | P1、P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1、P2の拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | | |
|---------------------|---|-----------------------------------|---|--|------------|---------------|---|
| | 新規ナイロウイルス属LPHウイルスのリバースジェネティクスによる組換えウイルスの作成(北海道大学) | 大腸菌(クラス1) LPHウイルス(実験分類未決定) | LPHウイルス(実験分類未決定) オワンクラゲ(クラス1)等 | マーカー遺伝子を発現するLPHウイルスの株間キメラを作成し、培養細胞又はマウスに接種する。 | 1-イ 3-イ | P2、P3、 P3A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P3、P3Aの拡散防止措置を執る。 |
| | 変異型T抗原発現JCウイルスの作成を通じたPMLの病態解明(国立感染症研究) | 大腸菌(クラス1) JCウイルス(クラス2) | JCウイルス(クラス2) | 変異を導入した組換えJCウイルスを作製し、培養細胞への感染実験を行う。 | 1-へ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| | 組換え単純ヘルペスウイルスを用いた神経回路トレーニング実験(東京大学) | 単純ヘルペスウイルス(クラス2)、アデノ随伴ウイルス(クラス1)等 | 単純ヘルペスウイルス(クラス2)、FMDV(クラス3)、P1ファージ、サンゴ、ヒト等(クラス1) | マウス神経細胞にG蛋白質発現アデノ随伴ウイルスを感染させ、その後、目的遺伝子を持つ増殖能(G蛋白質)欠損単純ヘルペスウイルスを追加感染させることにより、神経回路に目的遺伝子を導入する。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| | その他、申請者の希望により、非公表が6件。 | | | | | | |
| 第103回 (H27.3.30) | マウスノロウイルスを利用した経口ワクチン用ベクター開発のための基盤実験(国立長寿医療研究センター) | マウスノロウイルス(クラス2) | マウスノロウイルス、インフルエンザウイルス、(クラス2)、オワンクラゲ、ヒオドシエビ、ヒト、T7ファージ(クラス1)等 | 各種外来遺伝子等を導入した組換えマウスノロウイルスを作製し、培養細胞へ接種する。 | 1-へ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|--|--|-------------------|--------|--|
| 組換え狂犬病ウイルスによるウイルスG蛋白質N型糖鎖の機能解析(大分大学) | 狂犬病ウイルス(クラス3) | 狂犬病ウイルス(クラス3) 造礁サンゴ、トゲオキヒオドシエビ(クラス1) | 各種外来遺伝子や変異を導入した遺伝子組換え狂犬病ウイルスを作製する。同組換えウイルスをマウスに接種する。 | 1-ハ 1-ヘ 3-イ | P3,P3A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP3、P3Aの拡散防止措置を執る。 |
| モルビリウイルスの感染増殖機構の解析(京都大学) | ネコモルビリウイルス(クラス2) ワクシニアウイルス(クラス2) | ネコモルビリウイルス、麻疹ウイルス、イヌジステンパー、センダイウイルス、リンダペストウイルス(クラス2) オワンクラゲ、六放サンゴ、ホタル、ウミシイタケ(クラス1)等 | 各種外来遺伝子や変異を導入した遺伝子組換えネコモルビリウイルスを作製する。また、T7RNAポリメラーゼ遺伝子を導入した遺伝子組換えワクシニアウイルスを作製する。 | 1-ヘ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| ネコモルビリウイルスの作出と感染増殖機構の解析 | ネコモルビリウイルス(クラス2) ワクシニアウイルス(クラス2) | ネコモルビリウイルス、麻疹ウイルス、イヌジステンパー、センダイウイルス、リンダペストウイルス(クラス2) オワンクラゲ、六放サンゴ、ホタル、ウミシイタケ(クラス1)等 | 各種外来遺伝子や変異を導入した遺伝子組換えネコモルビリウイルスを作製し、培養細胞、ネコ等に接種する。また、T7RNAポリメラーゼ遺伝子を導入した遺伝子組換えワクシニアウイルスを作製し、培養細胞に接種する。 | 1-ヘ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | | |
|-----------------------|--|------------------|---|--|------------|----------|------------------------------------|
| | 組換えチクングニアウイルスを用いた感染機構の解析および薬剤感受性の測定 (北海道大学) | チクングニアウイルス(クラス3) | チクングニアウイルス(クラス3) | 変異を導入した組換えチクングニアウイルスを作成し、培養細胞に接種することで、その性状の解析を行う。 | 1-ハ 1-へ | P3 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP3の拡散防止措置を執る。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が7件。 | | | | | | | |
| 第104回 (H27.6.4) | 外来遺伝子を導入した組換え鳥ボルナウイルスの作成 (P2レベル)(鹿児島大学) | 鳥ボルナウイルス(クラス未分類) | 鳥ボルナウイルス(クラス未分類) D型肝炎ウイルス、A型インフルエンザウイルス、SV5、SV40、EMCV、PTV1、日本住血吸虫(クラス2) ヒト、オワンクラゲ、ホタル、ウミシイタケ、カイアシ、サンゴ、P1ファージ、Tobacco ringspot virus(クラス1) | 各種外来遺伝子を導入した組換え鳥ボルナウイルスを作製し、培養細胞に接種することで、その性状の解析を行う。また、鳥ボルナウイルス由来の一部遺伝子を導入した、遺伝子組換え大腸菌を作成する。 | 1-イ 1-へ | P1 P2 | 宿主の実験分類等を考慮してP1、P2の拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|--|---|--|--|------------|-----------|---------------------------------------|
| miRNAによる発現制御を利用した弱毒ムンプスウイルスの作成(国立感染症研究所) | ムンプスウイルス(クラス2) | ムンプスウイルス、D型肝炎ウイルス(クラス2) T7ファージ、タバコリングスポットウイルス、ホタル、カイアシ、オワンクラゲ、サンゴ、ヒト、ラット、マーモセット、カニクイザル、放線菌(クラス1) | 各種外来遺伝子を導入した組換えムンプスウイルスを作製し、ラット、マーモセット及びカニクイザルに接種することで、その性状の解析を行う。 | 1-へ 3-イ | P2 P2A | 宿主の実験分類等を考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| 異種抗原を発現する組換え牛パラインフルエンザ3型ウイルスの作製(1)(筑波大学) | 牛パラインフルエンザ3型ウイルス(クラス1、2) ワクシニアウイルス(クラス2) | 牛パラインフルエンザ3型ウイルス(クラス1、2) 牛ウイルス性下痢ウイルス、牛白血病ウイルス、牛パピローマウイルス、水痘性口内炎ウイルス(クラス2) オワンクラゲ、T7ファージ(クラス1) | T7RNAポリメラーゼ発現ワクシニアウイルスを用いて、外来核酸を導入した組換え牛パラインフルエンザ3型ウイルスを作製し、培養細胞、ハムスター、マウスに接種することでその性状解析を行う。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A | 宿主及び核酸供与体の実験分類等を考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | | |
|-----------------------|---|--|---|---|--------------------------|------------------|---|
| | 外来ウイルス表面糖蛋白質遺伝子を発現する水泡性口炎ウイルスの使用(北海道大学) | 水泡性口炎ウイルス(クラス2) | クエヴァウイルス(クラス未分類) マールブルグウイルス、エボラウイルス(クラス4) A型インフルエンザウイルス(クラス2) イソギンチャクモドキ、オワンクラゲ、T7ファージ(クラス1) | 各種外来遺伝子を導入した組換え水泡性口炎ウイルスを作製し、培養細胞及びマウスに接種することで、その性状の解析を行う。 | 1-イ 1-ロ 1-へ 3-イ | P2 P2A | 宿主の実験分類等を考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が6件。 | | | | | | | |
| 第105回 (H27.7.30) | ppnk遺伝子を変異させたMycobacterium tuberculosis H37Rv株の作製(国立感染症研究所) | <i>Mycobacterium tuberculosis</i> (クラス3) | <i>Mycobacterium tuberculosis</i> (クラス3) <i>Vibrio cholerae</i> 、 <i>M. bovis</i> BCG 株(クラス2) <i>Bacillus subtilis</i> 、 <i>Escherichia coli</i> (クラス1) | コレラ菌由来の外来遺伝子を導入することで、特定の遺伝子の機能を欠損させた組換え結核菌及びその相補株を作成する。 | 1-ハ | P3 | 核酸供与体及び宿主の実験分類等を考慮してP3の拡散防止措置を執る。 |
| | HIV由来cDNA搭載組換えセンダイウイルスベクター感染実験(医薬基盤・健康・栄養研究所) | センダイウイルス、SIV(クラス2) | HIV、VSV、センダイウイルス(クラス2) | 各種外来遺伝子を導入した組換えセンダイウイルスを作製し、培養細胞及びサルへ接種することで、その性状の解析を行う。また、当該組換えセンダイウイルスを接種したサルに対して、各種外来遺伝子を導入した組換えSIVの感染を行う。 | 1-へ 3-イ | P2、P2A P3、P3A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2A、P3、P3Aの拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | | |
|-----------------------|---|---|--|---|------------|-----------|---------------------------------------|
| | HIV関連遺伝子発現センダイウイルスを用いた宿主因子の解析(3)(大阪大学) | センダイウイルス、ワクシニアウイルス(クラス2) | ヒト、サル、T7ファージ(クラス1) | T7RNAポリメラーゼ発現ワクシニアウイルス等を用いて、外来遺伝子を導入した組換えセンダイウイルスを作製し、哺乳類細胞に感染させる。また、組換えセンダイウイルス感染細胞に対して、HIV又はSIVを感染させ、性状を解析する。 | 1-へ | P2 P3 | 宿主及び核酸供与体の実験分類等を考慮してP2、P3の拡散防止措置を執る。 |
| | ニューカッスル病ウイルスの水禽への病原性発現機序の解析(鳥取大学) | ニューカッスル病ウイルス(クラス2) | ニューカッスル病ウイルス(クラス2) | ニューカッスル病ウイルスの株間キメラを作製し、発育鶏卵及びニワトリに接種することで、その性状の解析を行う。 | 1-へ 3-イ | P2 P2A | 宿主及び核酸供与体の実験分類等を考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が8件。 | | | | | | | |
| 第106回 (H27.9.29) | Bcl-2を発現するレンチウイルスの作製とそれを用いたHIV-1潜伏持続感染細胞樹立に関する研究(大阪大学) | HIV-1(クラス2、3) | HIV-1(クラス3) VSV(クラス2) オワンクラゲ、カイメン、ウミシイタケ、EMCV(クラス1) | 外来遺伝子を導入した組換えHIV-1を作製し、組換えレンチウイルスベクターにより遺伝子を改変した培養細胞に接種することで、その性状の解析を行う。 | 1-ハ 1-へ | P2 P3 | 宿主及び核酸供与体の実験分類等を考慮してP2、P3の拡散防止措置を執る。 |
| | ブルセラ菌 Δ <i>VirB2</i> および Δ <i>VceC</i> 株およびその相補株の作出を通じた <i>Brucella abortus</i> の細胞内増殖機構・病原性の解明(国立感染症研究所) | <i>Brucella melitensis</i> biover <i>abortus</i> (クラス3) | <i>Brucella melitensis</i> biover <i>abortus</i> (クラス3) 大腸菌(クラス1) | ブルセラ菌について、特定の遺伝子の欠損株及び相補株を作製し、培養細胞及びマウスに接種することで、その性状の解析を行う。 | 1-ハ 3-イ | P3 P3A | 宿主及び核酸供与体の実験分類等を考慮してP3、P3Aの拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|--|---|--|---|----------------------|-------------------|--|
| <p>弱毒性狂犬病ウイルスによる逆行性単シナプス分子輸送を応用したマカクザルにおける随意運動に関する神経回路の解析(国立精神・神経医療研究センター)</p> | <p>狂犬病ウイルス HEP株 (クラス2) マカクザル (クラス1)</p> | <p>口蹄疫ウイルス (クラス3) レンチウイルス (増殖力等欠損株)、狂犬病ウイルスHEP株・SAD株・CVS株、脳心筋炎ウイルス、ウッドチャック肝炎ウイルス、SV40、MSCV (クラス2) AAV、Thosea assignaウイルス、オワンクラゲ、サンゴ、ニワトリ、ウサギ、マウス、Discosoma、ヒト、コモンマーモセット、マカクザル (クラス1)</p> | <p>各種外来遺伝子を導入した部位特異的制限増殖型の組換え狂犬病ウイルスを作成するとともに、組み換えAAV又は組み換えレンチウイルスによりウイルスレセプターを付与された組換えマカクザルを作成し、これらの接種実験を行うことでその性状解析を行う。</p> | <p>1-へ 3-イ、ロ</p> | <p>P2 P2A</p> | <p>宿主及び核酸供与体の実験分類等を考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。</p> |
| <p>その他、申請者の希望により、非公表が3件。</p> | | | | | | |

| | | | | | | | |
|------------------------------|---|--|--|--|----------------------------|-------------------|--|
| <p>第107回 (H27.12.10)</p> | <p>ラッサウイルス、マールブルグウイルス、エボラウイルスおよび、クリミア・コンゴ出血熱ウイルス、重症熱性血小板減少症候群ウイルス、リンパ球脈絡髄膜炎ウイルスの遺伝子を発現する組換えワクシニアウイルスの作製、及びマウス、ウサギへの接種実験(国立感染症研究所)</p> | <p>ワクチニアウイルス (クラス2) 大腸菌 (クラス1)</p> | <p>マールブルグウイルス、ザイールエボラウイルス、レストンエボラウイルス、スーダンエボラウイルス、ブンディブギョエボラウイルス、タイフォレストエボラウイルス、クリミア・コンゴ出血熱ウイルス、LASV(クラス4) SFTSV(クラス3) LCMV、ワクシニアウイルス(クラス2) オワンクラゲ、造礁サンゴ、大腸菌(クラス1)</p> | <p>外来遺伝子を導入した組換え大腸菌及び組換えワクシニアウイルスを作成し、組換えワクシニアウイルスを培養細胞、マウス及びウサギに接種することで、その性状の解析を行う。</p> | <p>1-ロ 1-へ 3-イ</p> | <p>P2 P2A</p> | <p>宿主及び核酸供与体の実験分類等を考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。</p> |
| | <p>ヒトレトロウイルス抗原、ヒトCD40リガンド、ラットMHC-I、ラットβ2-ミクログロブリン、ラットT細胞受容体、ラットTRAIL、またはラットTRAIL受容体を発現する組換えワクシニアウイルスの作製と細胞・動物感染実験(北海道大学)</p> | <p>ワクシニアウイルス (クラス2)</p> | <p>HIV-1、(クラス3) HTLV-1、ワクシニアウイルス、牛痘ウイルス(クラス2) ヒト、ラット(クラス1)</p> | <p>外来遺伝子を導入した組換えワクシニアウイルスを作成し、培養細胞や動物への接種等を行うことで、その性状の解析を行う。</p> | <p>1-へ 3-イ</p> | <p>P2 P2A</p> | <p>宿主及び核酸供与体の実験分類等を考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。</p> |

| | | | | | | |
|--|-----------------------|--|---|------------|-----------|---------------------------------------|
| ウイルスおよび細菌由来タンパクを発現するワクシニアウイルスを用いたワクチン開発 (医薬基盤・健康・栄養研究所) | ワクシニアウイルス (クラス2) | HIV-1、結核菌 (クラス3) ワクシニアウイルス、SIV、C型肝炎ウイルス、インフルエンザウイルス、風疹ウイルス、Cow pox virus、 (クラス2) 大腸菌 (クラス1) | 外来の遺伝子を導入した組換えワクシニアウイルスを作成し、培養細胞や動物への接種をすることで、その性状の解析を行う。 | 1-へ 3-イ | P2 P2A | 宿主及び核酸供与体の実験分類等を考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| Respiratory syncytial virus 病原性の解明(東北大学) | RSV (クラス2) | RSV (クラス2) | RSVの株間キメラを作成し、培養細胞へ接種することで、その性状の解析を行う。 | 1-へ | P2 | 宿主及び核酸供与体の実験分類等を考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| テロメラーゼ(hTERT)プロモーターによりAdE1A及びAdE1B遺伝子が制御される5型アデノウイルスを用いたがん治療・診断に関する実験(その4)(オンコリスバイオファーマ株式会社) | ヒト5型アデノウイルス (クラス2) | ヒト5型アデノウイルス、ヒト35型アデノウイルス、脳心筋炎ウイルス、サイトメガロウイルス (クラス2) ヒト、オワンクラゲ、マウス (クラス1) | 外来遺伝子を導入した組換えヒト5型アデノウイルスを作成し、培養細胞に接種することで、その性状の解析を行う。 | 1-へ | P2 | 宿主及び核酸供与体の実験分類等を考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | | |
|-----------------------|---|--|--|---|------------|----------------|--|
| | 組換え類鼻疽菌を用いた類鼻疽菌の病原性解析(大阪大学) | 類鼻疽菌(クラス3) | 類鼻疽菌(クラス3) ノサンバエ、大腸菌、オワンクラゲ、ホタル(クラス1) | 外来遺伝子を導入した組換え類鼻疽菌を作成し、培養細胞や動物への接種等を行うことで、その性状の解析を行う。 | 1-ハ 3-イ | P3 P3A | 宿主及び核酸供与体の実験分類等を考慮してP3、P3Aの拡散防止措置を執る。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が5件。 | | | | | | | |
| 第108回 (H28.3.4) | アデノウイルスの増殖と宿主細胞との相互作用(北海道大学) | アデノウイルス(クラス2) | アデノウイルス(クラス2) ヒト(クラス1) | アデノウイルスに外来遺伝子及び変異を導入した組換えアデノウイルスを作製し、培養細胞及び動物に感染させることで、その性状解析を行う。 | 1-ヘ 3-イ | P2 P2A | 宿主及び核酸供与体の実験分類等を考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| | TMPRSS2ノックアウトマウスへのレポーター遺伝子発現組換え呼吸器ウイルスの感染実験(国立感染症研究所) | ヒトメタニューモウイルス、センダイウイルス、A型インフルエンザウイルス、ヒトパラインフルエンザウイルス、RSウイルス(クラス2) | ヒトメタニューモウイルス、センダイウイルス、A型インフルエンザウイルス、ヒトパラインフルエンザウイルス、RSウイルス(クラス2) その他、各種レポーター遺伝子の核酸供与体 | 各呼吸器ウイルスに変異又はマーカ遺伝子を導入した組換えウイルスを作成し、培養細胞、鶏卵、マウス等に接種し性状解析を行う。 | 1-ヘ 3-イ | P2、P2 A、P3A | 宿主及び核酸供与体の実験分類等を考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。また、機関内の規程に基づき、組換えセンダイウイルスのマウスへの接種については、P3Aの拡散防止措置を執る。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が4件。 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|------------------------|--|-------------------|--|--|------------|--------------------------|--|
| 第109回 (H28.5.12) | テロメラーゼ(hTERT)プロモーターによりAdE1AおよびAdE1B遺伝子が制御される5型アデノウイルスを用いたがん治療・診断に関する実験(岡山大学) | ヒト5型アデノウイルス(クラス2) | ヒト35型アデノウイルス(クラス2) クラゲ、ヒト、マウス(クラス1) | ヒト5型アデノウイルスに各種外来核酸を導入した組換えヒト5型アデノウイルスを作製し、培養細胞及び動物に接種することでその性状解析を行う。 | 1-へ 3-イ | P2 P2A | 宿主及び核酸供与体の実験分類等を考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| | デングウイルス感染動物モデルの確立(東京都医学総合研究所) | デングウイルス(クラス2) | デングウイルス、EMCV、インフルエンザウイルス、Murid herpesvirus 1,4(クラス2) オワンクラゲ、イソギンチャク、ホタル、ウミシイタケ、ガウシア(クラス1) | デングウイルスに外来遺伝子及び変異を導入した組換えデングウイルスを作製し、培養細胞及び動物に感染させることで、その性状解析を行う。 | 1-へ | P1、P2、 P2A、 P3、P3A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP1、P2、P2A、P3、P3Aの拡散防止措置を執る。 |
| | マウスノロウイルスを利用した経口ワクチン用ベクター開発のための基盤実験(国立長寿医療研究センター) | マウスノロウイルス(クラス2) | マウスノロウイルス、インフルエンザウイルス、(クラス2)、オワンクラゲ、ヒオドシエビ、ヒト、T7ファージ(クラス1)等 | 各種外来遺伝子等を導入した組換えマウスノロウイルスを作製し、培養細胞及び動物へ接種する。 | 1-へ 3-イ | P2、P3A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P3Aの拡散防止措置を執る。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が13件。 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---------------------|---|---|---|---|--------------------------|------------------------|--|
| 第110回 (H28.7.14) | フレボウイルス感染動態の ウイルス種間比較解析(北 海道大学) | 各種フレボウイル ス (クラス3、クラス 未分類) 大腸菌 (クラス1) | 各種フレボウイル ス (クラス3、クラス 未分類) A型インフルエン ザウイルス、日本 住血吸虫 (クラス2) オワンクラゲ、ス ナギンチャク、ナ メクジウオ、イソ ギンチャクモド キ、ウミヅタ、ホタ ル、ウミシイタケ、 カイアシ、ウミホタ ル、トゲオキヒオ ドシエビ、ヒト、大 腸菌 (クラス1) | クラス未分類ウイルス由来の遺伝子 を大腸菌に導入し、組換え大腸菌を 作製する。 また、各種のフレボウイルスに対し て、外来遺伝子や変異の導入、キメ ラウイルスの作製、シュードタイプウ イルスの作製により、組換えフレボ ウイルスを作製し、培養細胞及び動 物に感染させることで、その性状解 析を行う。 | 1-イ 1-ハ 1-ヘ 3-イ | P2 P2A P3 P3A | 宿主及び核酸供 与体の実験分類 等を考慮してP 2、P2A、P3、P3 Aの拡散防止措 置を執る。 |
| | ジカウイルス遺伝子のク ローニングと感染性クロー ンの樹立(国立感染症研究 所) | ジカウイルス (クラス未分類) 大腸菌 (クラス1) | ジカウイルス (クラス未分類) サイトメガロウイ ルス、D型肝炎ウ イルス、SV40 (クラス2) ニワトリ (クラス1) | ジカウイルスについて、外来遺伝子 や変異の導入を行った組換えジカウ イルスを作製し、培養細胞に感染さ せることで、その性状解析を行う。 | 1-イ 1-ヘ | P2 | 宿主及び核酸供 与体の実験分類 等を考慮してP2 の拡散防止措 置を執る。 |

| | | | | | | | |
|-----------------------|---|---------------------------------|---|--|-------------------|-----------------|--|
| | Bas-Congoウイルスの組換えN・G蛋白質を発現する組換えワクシニアウイルスの作製、及びマウス、ウサギへの接種実験(国立感染症研究所) | ワクシニアウイルス(クラス1及び2) 大腸菌(クラス1) | BAS-Congoウイルス(クラス未分類) ワクシニアウイルス(クラス2) ワクシニアウイルス、造礁サンゴ、大腸菌(クラス1) | 大腸菌及びワクシニアウイルスについて、Bas-Congoウイルス等に由来する遺伝子を導入した組換え大腸菌及びワクシニアウイルスを作製する。また、組換えワクシニアウイルスについては、培養細胞及び動物に感染させることで、その性状解析を行う。 | 1-イ 1-へ 3-イ | P1 P2 P2A | 宿主及び核酸供与体の実験分類等を考慮してP1、P2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| | 進行性多巣性白質脳症(PML)発症におけるJCV非翻訳調節領域(NCCR)の再構成メカニズムの解明(岡山大学) | JCV(クラス2) | JCV(クラス2) | JCVについて、株間のキメラウイルスを作製し、動物に感染させることで、その性状解析を行う。 | 1-へ 3-イ | P2 P2A | 宿主及び核酸供与体の実験分類等を考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が7件。 | | | | | | | |
| 第111回 (H28.9.30) | 組換えZikaウイルスワクチンの開発(バイオコモ株式会社) | hPIV2(クラス2) 大腸菌(クラス1) | Zikaウイルス(クラス未分類) hPIV2、マウスマラリア(クラス2) | 大腸菌及びhPIV2について、Zikaウイルス等に由来する遺伝子を導入した組換え大腸菌及びhPIV2を作製する。また、組換えhPIV2については、培養細胞及び動物に感染させることで、その性状解析を行う。 | 1-イ 3-イ | P2、P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等を考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| | 抗ウイルス蛋白質テザリンを発現する組換え狂犬病ウイルスの作出とワクチンへの応用(岐阜大学) | 狂犬病ウイルス(クラス2) | 狂犬病ウイルス固定株、HDV(クラス2) ヒト(クラス1) | 狂犬病ウイルスに各種外来核酸を導入した組換え狂犬病ウイルスを作製し、培養細胞及び動物へ感染させることでその性状解析を行う。 | 1-へ 3-イ | P2 P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等を考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | |
|--|--|---|--|--------------------------|-----------|--|
| トフラウイルスの診断法確立(長崎大学) | 大腸菌、バキュロウイルス(クラス1) | トフラウイルス(クラス未分類)バキュロウイルス(クラス1) | トフラウイルスのタンパク質遺伝子を大腸菌またはバキュロウイルスに導入し、その機能解析等を行う。 | 1-イ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |
| チクングニヤウイルスの病原性発現機序の解析(長崎大学) | チクングニヤウイルス(クラス3) | チクングニヤウイルス(クラス3)EMCV、HCV(クラス2)オワンクラゲ、造礁サンゴ(クラス1) | 各種外来核酸を導入した組換えチクングニヤウイルスを作製し、培養細胞及び動物に感染させることでその性状解析を行う。 | 1-ヘ 3-イ | P3、P3A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP3、P3Aの拡散防止措置を執る。 |
| レポーター遺伝子を導入した組換え中東呼吸器症候群(MERS)コロナウイルスの作製(国立感染症研究所) | MERSコロナウイルス(クラス2)マウス(クラス1) | MERSコロナウイルス(クラス3)CMV、HDV(クラス2)ウシ、オワンクラゲ、ホタル(クラス1) | MERSコロナウイルスに各種外来核酸を導入した組換えMERSコロナウイルスを作成し、培養細胞及び動物に導入して、性状解析等を行う。また、動物として、MERSコロナウイルス受容体遺伝子を導入した組換えマウスを使用する。 | 1-ハ 1-ヘ 3-イ 3-ロ | P3 P3A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP3、P3Aの拡散防止措置を執る。 |
| Cas9/CRISPRゲノム編集技術の導入による、Aspergillus fumigatus近縁種の薬剤耐性メカニズムの解明(国立感染症研究所) | Aspergillus lentulus, Aspergillus viridinutans(クラス未分類) | Streptococcus pyogenes、SV40(クラス2)Aspergillus nidulans、Saccharomyces cerevisiae、Escherichia coli(クラス1) | 実験分類未分類のAspergillus属菌に変異を導入した組換えAspergillus属菌を作成し、性状解析等を行う。 | 1-イ | P2 | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | | |
|-----------------------|--|--|--|---|------------|-----------|--|
| | 1型及び2型単純ヘルペスウイルス(HSV-1、HSV-2)、サイトメガロウイルス(CMV)、中東呼吸器症候群コロナウイルス(MERS-CoV)の表面糖タンパク遺伝子を発現する組換えワクシニアウイルスの作製(国立感染症研究所) | ワクシニアウイルス(クラス2) | MERS-CoV(クラス3) ワクシニアウイルス、HSV-1、2、CMV、(クラス2) 造礁サンゴ、大腸菌(クラス1) | ワクシニアウイルスに各種外来核酸を導入した組換えワクシニアウイルスを作成し、培養細胞及び動物に導入して、性状解析等を行う。 | 1-ヘ 3-イ | P2 P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |
| | SOCS1 dominant negative 発現組換えMycobacterium tuberculosisを用いたワクチン開発(医薬基盤・健康・栄養研究所) | Mycobacterium tuberculosis(クラス3) Mycobacterium bovis BCG(クラス2) 大腸菌(クラス1) | Mycobacterium fortuitum(クラス2) マウス、ヒト、カンクイザル、大腸菌(クラス1) | 各種外来核酸を導入した組換え結核菌を、動物に導入し、その性状解析等を行う。 | 1-ハ 3-イ | P3、P3A | 宿主および核酸供与体の実験分類等に考慮してP3、P3Aの拡散防止措置を執る。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が6件。 | | | | | | | |
| 第112回 (H28.11.28) | 効果的で安全な新規癌治療法を目指した遺伝子組換え腫瘍溶解性エンテロウイルスの開発(東京大学) | CVB3、CVA11、CVA21、EV4、PV1、PV3(クラス2) | CVB3、CVA11、CVA21、EV4、PV1、PV3、Porcine teschovirus-1、HCV、EMCV(クラス2) オワンクラゲ、マウス、ヒト、Thosea asigna virus(クラス1) | 外来遺伝子等を発現する組換えヒトエンテロウイルスを作製し、培養細胞又は動物に感染させ、性状解析を行う。 | 1-ヘ 3-イ | P2 P2A | 宿主および核酸供与体の実験分類等を考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。 |

| | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|--|----------------------------|---|---|
| | <p>ペスチウイルスの宿主特異性および病原性に関する因子の特定(北海道大学)</p> | <p>豚コレラウイルス(クラス3、1) 牛ウイルス性下痢ウイルス(クラス2)</p> | <p>豚コレラウイルス(クラス3、1) 牛ウイルス性下痢ウイルス、脳心筋炎ウイルス(クラス2) ホタル、ウミシイタケ、カイアシ、オワンクラゲ、サンゴ、イソギンチャクモドキ、バクテリア オファージT7(クラス1)</p> | <p>各種外来核酸、変異又は欠損を導入した組換えペスチウイルスを作製し、培養細胞及び動物に感染させることでその性状解析を行う。</p> | <p>1-へ 1-ハ 3-イ</p> | <p>P2 P3 P3A</p> | <p>宿主および核酸供与体の実験分類等を考慮してP2、P3、P3Aの拡散防止措置を執る。</p> |
| <p>その他、申請者の希望により、非公表が6件。</p> | | | | | | | |
| <p>第113回 (H29.4.5)</p> | <p>ハートランドウイルスの表面糖タンパク、核タンパク、非構造タンパク、ポリメラーゼを発現する組換えワクシニアウイルスの作製(国立感染症研究所)</p> | <p>ワクシニアウイルス(クラス1、2) 大腸菌(クラス1)</p> | <p>ハートランドウイルス(クラス未分類) ワクシニアウイルス(クラス2) 造礁サンゴ、大腸菌、オワンクラゲ(クラス1)</p> | <p>ハートランドウイルス由来の核酸を導入した組換え大腸菌及び組換えワクシニアウイルスを作製する。また、組換えワクシニアウイルスについては、培養細胞又は動物に感染させて性状解析を行う。</p> | <p>1-イ 1-へ 3-イ</p> | <p>P1 P2 P2A P3 P3A</p> | <p>宿主及び核酸供与体の病原性等を考慮すればP1、P2、P2Aの拡散防止措置が妥当と考えられる。ただし、ハートランドウイルスの感染実験を含む場合はP3、P3Aの措置を採る。</p> |

| | | | | | | |
|------------------------------|-----------------|--|---|------------|-----------|--|
| 組換えボツリヌス神経毒素の発現と機能解析(大阪府立大学) | 大腸菌(クラス1) | ボツリヌス菌(クラス2) | 改変されたボツリヌス菌由来の毒素遺伝子を大腸菌に導入して組換え大腸菌を作製し、性状解析を行う。 | 1-ト | P2 P3 | 宿主及び核酸供与体の病原性等を考慮してP2の拡散防止措置を執ることが妥当だが、安全面を考慮して、一部P3の措置を採る。 |
| レポーター遺伝子発現フラビウイルスの作製3(北海道大学) | ランガットウイルス(クラス2) | 口蹄疫ウイルス(クラス3) オワンクラゲ、イソギンチャク、ホタル、ヒオドシエビ(クラス1) | 外来遺伝子を発現する組換えランガットウイルスを作製し、培養細胞又は動物に感染させ、性状解析を行う。 | 1-ヘ 3-イ | P2 P3A | 宿主及び核酸供与体の病原性等に考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執ることが妥当だが、施設の都合上、P3Aの措置を採る。 |
| その他、申請者の希望により、非公表が7件。 | | | | | | |